

第3学年

各教科・科目の授業概要

(学習法 及び 年間の指導内容・評価規準)

令和6年度



愛媛県立今治西高等学校

国語科【論理国語】 評価規準

愛媛県立今治西高等学校 国語科

教 科	国語	科 目	論理国語		
単 位 数	3	学 年	3	類 型	共通
教 科 書	精選 論理国語（明治書院）				
科目目標	<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 2 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 3 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。 				

令和6年度 1学期 国語科【論理国語】 評価規準

単 元	世界が直面する諸課題について、文章と図やグラフを読み解きながら考えよう。（『二〇〇年の世界地図』）	
評価期間	1学期 4月	
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解することができる。 ・文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えることができる。 ・実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。	・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えている。	・世界が抱える諸問題について情報を収集・整理し、階層化して考える活動に粘り強く取り組むことを通して、実社会に必要な国語の技能を身に付けられるよう、自らの学習を調整しようとしている。

観 点	評 価 内 容
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・第1学期中間考査 ・授業プリント
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・第1学期中間考査 ・言語活動プリントの記述内容
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・課題の記述内容 ・授業プリント・ノートの記述内容 ・教師による行動観察

単 元	現代社会における科学の価値について多面的に検討し、論点を明確にして論述しよう。(『なぜ科学を学ぶのか』)	
評価期間	1学期 4月	
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めることができる。 ・情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、自分の立場や論点を明確にして、主張を支える適切な根拠をそろえることができる。 ・論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「書くこと」において、情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、自分の立場や論点を明確にして、主張を支える適切な根拠をそろえている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現代社会における科学の価値について論理的、批判的に考えた上で、自分の立場や論点を明確にして小論文を書く活動に粘り強く取り組む中で、自らの学習を調整しようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・第1学期中間考査 ・授業プリント 	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・第1学期中間考査 ・授業プリント、ノートの記述内容 	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・週末課題の記述内容 ・授業プリント、ノートの記述内容 ・教師による行動観察 	

単元	文章の構造や展開を工夫して、日本人の美意識や倫理観について仮説を立てて論述しよう。(『「間」の感覚』)	
評価期間	1学期 4～5月	
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深めることができる。 ・個々の文の表現の仕方や段落の構造を吟味するなど、文章全体の論理の明晰さを確かめ、自分の主張が的確に伝わる文章になるよう工夫することができる。 ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。 	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「書くこと」において、個々の文の表現の仕方や段落の構造を吟味するなど、文章全体の論理の明晰さを確かめ、自分の主張が的確に伝わる文章になるよう工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・二項対立を押さえ、具体例と抽象の違いに気を付けながら筆者の主張を的確に読み取り、日本人の美意識や倫理観について仮説を立てて意見文を書く活動に粘り強く取り組む中で、自らの学習を調整しようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・第1学期中間考査 ・授業プリント 	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・第1学期中間考査 ・授業プリント、ノートの記述内容 	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・週末課題の記述内容 ・授業プリント、ノートの記述内容 ・教師による行動観察 	

単元	古典の論理的な文章を読み、論点を明確にしながらい要旨を把握しよう。(『送薛存義之任序』)	
評価期間	1学期 5月	
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな考えの構築に資する読書の意義と効用について理解を深めることができる。 ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながらい要旨を把握することができる。 ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。 	

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・新たな考えの構築に資する読書の意義と効用について理解を深めている。	・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。	・漢文という文章の種類を踏まえて内容を理解し、柳子が薛存義を評価する論拠についてまとめる活動に粘り強く取り組み、自らの学習を調整しようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	・第1学期中間考査 ・授業プリント	
思考・判断・表現	・第1学期中間考査 ・授業プリント、ノートの記述内容	
主体的に学習に取り組む態度	・週末課題の記述内容 ・授業プリント、ノートの記述内容 ・教師による行動観察	

単 元	技術の発展によって起こる問題を新たな観点から捉え、最適解を考えよう。(『A I と憲法的価値』)	
評価期間	1学期 5月	
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めることができる。 ・人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めることができる。 ・論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。	・「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めている。	・文章の内容や解釈を多様な論点と結び付けて読み、技術の発展に伴って発生した諸問題を新たな観点から捉えて意見を交換する活動に粘り強く取り組み、自らの学習を調整しようとしている。

観 点	評 価 内 容
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・第1学期期末考査 ・授業プリント
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・第1学期期末考査 ・授業プリント、ノートの記述内容
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・週末課題の記述内容 ・授業プリント、ノートの記述内容 ・教師による行動観察

単 元	哲学的命題を設定し、論理の展開を意識して批判的に吟味しよう。(『猫は後悔するか』)	
評価期間	1学期 5～6月	
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 ・主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈することができる。 ・人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深める。 	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「猫は後悔しない」という主張を支える根拠や結論を導く論拠を読み取り話し合う活動を通して、文章の妥当性を粘り強く吟味しながら内容を把握し、自らの学習を調整しようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・第1学期期末考査 ・授業プリント 	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・第1学期期末考査 ・授業プリント、ノートの記述内容 	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・週末課題の記述内容 ・授業プリント、ノートの記述内容 ・教師による行動観察 	

単元	本居宣長の「もののあはれ」の定義と根拠を明らかにし、その主張の妥当性について考察しよう。(『石上私淑言』)	
評価期間	1学期 6月	
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> 文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めることができる。 主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈することができる。 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。 	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。 	<ul style="list-style-type: none"> 本居宣長が唱える「もののあはれ」について、主張を支える根拠を批判的に検討し、文章の妥当性について意見を交換する活動に粘り強く取り組み、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、自らの学習を調整しようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 第1学期期末考査 授業プリント 	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 第1学期期末考査 授業プリント、ノートの記述内容 	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 週末課題の記述内容 授業プリント、ノートの記述内容 教師による行動観察 	

単元	資本主義社会を生きる我々の思考を、異なる価値観を踏まえて捉え直そう。(『熱帯の贈与論』)	
評価期間	1学期 6～7月	
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> 情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深め使うことができる。 多面的・多角的な視点から自分の考えを見直したり、根拠や論拠の吟味を重ねたりして、主張を明確にすることができる。 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 	

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深め使っている。	・「書くこと」において、多面的・多角的な視点から自分の考えを見直したり、根拠や論拠の吟味を重ねたりして、主張を明確にしている。	・情報と情報の関係を意識しながら筆者の主張を読み取った上で、資本主義を生きる我々の思想を多面的・多角的な視点から捉え直し、自分の考えを論述する活動に粘り強く取り組むことを通して、自らの学習を調整しようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	・第1学期期末考査 ・授業プリント	
思考・判断・表現	・第1学期期末考査 ・授業プリント、ノートの記述内容	
主体的に学習に取り組む態度	・週末課題の記述内容 ・授業プリント、ノートの記述内容 ・教師による行動観察	

令和6年度 2学期 国語科【論理国語】 評価規準

単 元	歴史認識の問題について書き手の意図と論理の展開を捉え、論理的、批判的に考えよう。(『歴史を哲学する』)	
評価期間	2学期 8～9月	
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めることができる。 ・文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価することができる。 ・論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。	・「書くこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。	・書き手の意図を正確に読み取り、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価し、分析したことを論述する活動を通して、歴史認識の問題について論理的、批判的に考え、自らの学習を調整しようとしている。

観 点	評 価 内 容
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・第2学期中間考査 ・授業プリント
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・第2学期中間考査 ・授業プリント、ノートの記述内容
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・週末課題の記述内容 ・授業プリント、ノートの記述内容 ・教師による行動観察

単 元	現代社会の現実と「物語」について解釈を深め、自分の考えを論述しよう。(『現代社会における物語』)	
評価期間	2学期 9月	
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・推論の仕方について理解を深め使うことができる。 ・多面的・多角的な視点から自分の考えを見直したり、根拠や論拠の吟味を重ねたりして、主張を明確にすることができる。 ・論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・推論の仕方について理解を深め使っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・「書くこと」において、多面的・多角的な視点から自分の考えを見直したり、根拠や論拠の吟味を重ねたりして、主張を明確にしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・推論の仕方について理解し、現在とこれからの社会の在り方を多面的・多角的な視点から考察し、小論文を書く活動に粘り強く取り組むことを通して、自らの学習を調整しようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・第2学期中間考査 ・授業プリント 	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・第2学期中間考査 ・授業プリント、ノートの記述内容 	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・週末課題の記述内容 ・授業プリント、ノートの記述内容 ・教師による行動観察 	

単元	複数の文章や資料を基に、「危機言語」について主張を明確にして論述しよう。(『消えゆく言語・方言を守るには』)	
評価期間	2学期 9～10月	
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> 言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解できる。 設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりすることができる。 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 「書くこと」において、設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 言葉の価値を理解した上で、言語の多様性に関する文章や資料を探して読み、論述する活動に粘り強く取り組む中で、自分の考えを広げたり深めたりして、自らの学習を調整しようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 第2学期中間考査 授業プリント 	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 第2学期中間考査 授業プリント、ノートの記述内容 	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 週末課題の記述内容 授業プリント、ノートの記述内容 教師による行動観察 	

単元	これまでに培った知識や表現力、思考力を生かして難解な論理的文章の読解に挑戦し、社会や人間に対する考え方を深めよう。(問題演習)
評価期間	2学期 10～12月
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> 文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めることができる。 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながらか要旨を把握することができる。 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 	<ul style="list-style-type: none"> 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしなが ら要旨を把握している。 	<ul style="list-style-type: none"> 文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式などを理解し、論点を明確にしなが ら要旨を的確に捉えようとする活動を通して、社会や人間に対する自分の考えを深めることに粘り強く取り組む中で、自らの学習を調整しようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 第2学期末考査 授業プリント 	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 第2学期末考査 授業プリント、ノートの記述内容 	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 週末課題の記述内容 授業プリント、ノートの記述内容 教師による行動観察 	

令和6年度 3学期 国語科【論理国語】 評価規準

単 元	<p>これまでに培った知識や表現力、思考力を生かしてより難解な論理的文章の読解に挑戦し、多様な論点や価値観に触れることで、社会や人間に対する考え方をよりいっそう深めよう。(問題演習)</p>	
評価期間	3学期 1月	
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> 文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深めることができる。 人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めることができる。 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。 	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深めている。 	<ul style="list-style-type: none"> 人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めている。 	<ul style="list-style-type: none"> 文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方を理解し、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付け、新たな観点から人間、社会、自然に対する自分の考えを深める活動に粘り強く取り組む中で、自らの学習を調整しようとしている。

観 点	評 価 内 容
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 単元テスト ・ 課題の記述内容
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・ 単元テスト ・ 授業プリント・ノートの記述内容
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 課題の記述内容 ・ 授業プリント・ノートの記述内容 ・ 教師による行動観察

国語科【国語表現】 評価規準

愛媛県立今治西高等学校 国語科

教 科	国語	科 目	国語表現		
単 位 数	3	学 年	3	類 型	Ⅱ類型
教 科 書	国語表現（大修館書店）				
科目目標	<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語での確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 2 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、実社会における他者との多様な関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 3 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。 				

令和6年度 1学期 国語科【国語表現】 評価規準

単 元	言葉に関する基本的なルールや留意点を知り、自覚的に言葉を使えるようになる。（1 言葉と出会う）
評価期間	1学期 4～5月
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けることができる。 ・ 目的や意図に応じて、実社会の問題や自分に関わる事柄の中から適切な題材を決め、情報の組み合わせなどを工夫して、伝えたいことを明確にすることができる。 ・ 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養おうとする。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けようとしている。	・「書くこと」において、目的や意図に応じて、実社会の問題や自分に関わる事柄の中から適切な題材を決め、情報の組み合わせなどを工夫して、伝えたいことを明確にしようとしている。	・言葉に関する基本的なルールや留意点について学び、話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深めることを通して、自覚的に言葉を使い分け、適切な表現をすることに粘り強く取り組む中で、自らの学習を調整しようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	・第1学期中間考査 ・授業プリント・ノートの記述内容	
思考・判断・表現	・第1学期中間考査 ・言語活動プリントの記述内容	
主体的に学習に取り組む態度	・授業プリント・ノートの記述内容 ・教師による行動観察	

単 元	社会を取り巻くさまざまなメディアの特性を知り、使いこなせるようになるろう。(5メディアを駆使する)	
評価期間	1学期 5月～7月	
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・省略や反復などの表現の技法について理解を深め使うことができる。 ・読み手の共感が得られるよう、適切な具体例を効果的に配置するなど、文章の構成や展開を工夫することができる。 ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養おうとする。 	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・省略や反復などの表現の技法について理解を深め使っている。	・「書くこと」において、読み手の共感が得られるよう、適切な具体例を効果的に配置するなど、文章の構成や展開を工夫している。	・社会を取り巻くメディアの特性を知り、その中で用いられている表現の技法を理解し、メディアを効果的に利用して情報発信する活動を通して、相手の同意や共感が得られるよう粘り強く工夫を重ねる中で、自らの学習を調整しようとしている。

観 点	評 価 内 容
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・第1学期期末考査 ・授業プリント・ノートの記述内容
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・第1学期期末考査 ・言語活動プリントの記述内容
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・授業プリント・ノートの記述内容 ・教師による行動観察

令和6年度 2学期 国語科【国語表現】 評価規準

単 元	自分の意見の理由や根拠をはっきりと示し、読み手を納得させることができる論理的な文章を書こう。(3 小論文・レポート入門)	
評価期間	2学期 8～10月	
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・実用的な文章などの種類や特徴、構成や展開の仕方などについて理解を深めることができる。 ・読み手の同意が得られるよう、適切な根拠を効果的に用いるとともに、反論などを想定して論理の展開を考えるなど、文章の構成や展開を工夫することができる。 ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。 	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・実用的な文章などの種類や特徴、構成や展開の仕方などについて理解を深めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「書くこと」において、読み手の同意が得られるよう、適切な根拠を効果的に用いるとともに、反論などを想定して論理の展開を考えるなど、文章の構成や展開を工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実用的な文章などの種類や特徴について理解を深めるとともに、読み手の同意が得られるよう適切な根拠を効果的に用いつつ反論を想定して小論文を書く活動を通して、文章の構成や展開を工夫することに粘り強く取り組む中で、自らの学習を調整しようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・第2学期中間考査 ・授業プリント・ノートの記述内容 	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・第2学期中間考査 ・言語活動プリント（小論文）の記述内容 	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・授業プリント・ノートの記述内容 ・教師による行動観察 	

単元	自分の過去や現在を見つめ、将来に向かって着実に歩みを進めていくために、自分を的確にアピールする術を学ぼう。(4 自己PRと面接)
評価期間	2学期 10～12月
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の思いや考えを多彩に表現するために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き、語彙を豊かにすることができる。 ・自分の思いや考えが伝わるよう、具体例を効果的に配置するなど、話の構成や展開を工夫することができる。 ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・自分の思いや考えを多彩に表現するために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き、語彙を豊かにしている 	<ul style="list-style-type: none"> ・「話すこと・聞くこと」において、自分の思いや考えが伝わるよう、具体例を効果的に配置するなど、話の構成や展開を工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の思いを表現するために必要な語句やその使い方を学んだ上で、自己PRを考え、実際に面接の練習を行うことを通して、自分の思いや考えが伝わるよう粘り強く話の構成や展開を工夫する中で、自らの学習を調整しようとしている。

観 点	評 価 内 容
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・第2学期期末考査 ・授業プリント・ノートの記述内容
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・第2学期期末考査 ・面接練習での発言内容 ・言語活動プリントの記述内容
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・授業プリント・ノートの記述内容 ・教師による行動観察

令和6年度 3学期 国語科【国語表現】 評価規準

単元	相手や場面に応じた言葉の選び方や表現方法の工夫について学び、建設的な議論や効果的なプレゼンテーションができるようになる。(6 会話・議論・発表)
評価期間	2学期12月～3学期1月
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けることができる。 ・相手の反応に応じて言葉を選んだり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の同意や共感が得られるように表現を工夫することができる。 ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けている。	・「話すこと・聞くこと」において、相手の反応に応じて言葉を選んだり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の同意や共感が得られるように表現を工夫している。	・目的や場面に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、実際に会議やプレゼンテーションに取り組むことを通して、相手の同意や共感を得るために粘り強く表現の工夫を考える中で、自らの学習を調整しようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・単元テスト ・授業プリント・ノートの記述内容 	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・単元テスト ・会議・プレゼンテーションでの発言内容 ・言語活動プリントの記述内容 	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・授業プリント・ノートの記述内容 ・教師による行動観察 	

国語科【古典探究】 評価規準

愛媛県立今治西高等学校 国語科

教 科	国語	科 目	古典探究		
単 位 数	3	学 年	3	類 型	I・II類型
教 科 書	古典探究（大修館書店）				
科目目標	<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 2 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通じた先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 3 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。 				

令和6年度 1学期 国語科【古典探究】 評価規準

単元	長文の漢文を読解して鑑賞する能力を高めよう。(『十八史略』「水魚の交はり」「死せる諸葛」)	
評価期間	1学期 4月	
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めることができる。 ・ 文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えることができる。 ・ 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養おうとする。 	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・ 古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。	・ 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。	・ 古典の作品や文章の種類について理解を深めた上で、構成や展開を捉えて長文の漢文を粘り強く読解する活動を通して、歴史上実在する人物の生き方を考察する中で、自らの学習を調整しようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第1学期中間考査 ・ 漢文句形テスト 	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第1学期中間考査 ・ 授業プリント・ノートの記述内容 	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 課題の記述内容 ・ 授業プリント・ノートの記述内容 ・ 教師による行動観察 	

単元	作品の内容を、執筆と流布の経緯に結び付けて理解しよう。(『枕草子』「二月つごもりごろに」「この草子、目に見え心に思ふことを」)	
評価期間	1学期 4月～5月	
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めることができる。 ・ 作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察することができる。 ・ 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養おうとする。 	

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。	・「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。	・古典の作品に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深め、その成立背景や他の作品などとの関係を踏まえながら作品の価値を粘り強く考察する中で、自らの学習を調整しようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・第1学期中間考査 ・古典文法テスト 	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・第1学期中間考査 ・授業プリント・ノートの記述内容 	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・課題の記述内容 ・授業プリント・ノートの記述内容 ・教師による行動観察 	

単 元	唐宋八大家の作品を読み、作者の人生観や人間性について理解しよう。(『唐宋八家文読本』「師説」「捕蛇者説」)	
評価期間	1学期 6月	
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めることができる。 ・古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりすることができる。 ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養おうとする。 	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。	・「読むこと」において、古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりしている。	・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深め、作品の内容を自分の知見と結び付けることを通して、自分と社会のあり方について考えを深めることに粘り強く取り組む中で、自らの学習を調整しようとしている。

観 点	評 価 内 容
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・第1学期期末考査 ・漢文句形テスト
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・第1学期期末考査 ・授業プリント・ノート記述内容
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・週末課題の記述内容 ・授業プリント・ノートの記述内容 ・教師による行動観察

単 元	和歌の修辞法や引き歌表現に注意しながら、登場人物の心中思惟を的確に捉え、人物造詣を把握しよう。(『源氏物語』「須磨の秋」「紫の上の死」)	
評価期間	1学期 6～7月	
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めることができる。 ・古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりすることができる。 ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。 	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作品の内容を、日本の他の作品や中国の漢文と関連づけて読み、和歌特有の修辞などに留意しつつ人物造詣を把握する活動を通して、人間に対する自分の考えを広げたり深めたりすることに粘り強く取り組む中で、自らの学習を調整しようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・第1学期期末考査 ・古典文法テスト 	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・第1学期期末考査 ・言語活動プリントの記述内容 	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・課題の記述内容 ・授業プリント・ノートの記述内容 ・教師による行動観察 	

令和6年度 2学期 国語科【古典探究】 評価規準

<p>単元</p>	<p>『史記』の文章表現の妙味や、そこに用いられている故事成語などを理解し、言語感覚を豊かにしよう。(『史記』「勿頸の交わり」)</p>	
<p>評価期間</p>	<p>2学期 8～9月</p>	
<p>単元の目標</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・時間の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解を深めることができる。 ・必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価することができる。 ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。 	
<p>知識・技能</p>	<p>思考・判断・表現</p>	<p>主体的に学習に取り組む態度</p>
<p>・時間の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解を深めている。</p>	<p>・「読むこと」において、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。</p>	<p>・中国の古典作品が、故事成語を始めとして日本の言葉に多くの影響を与えていることを理解するとともに、作者の表現意図や目的を考えながら、その文章表現の妙味を味わい、評価することを通して、自分の言語感覚を豊かにすることに粘り強く取り組み、自らの学習を調整しようとしている。</p>
<p>観 点</p>	<p>評 価 内 容</p>	
<p>知識・技能</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・第2学期中間考査 ・漢文句形テスト 	
<p>思考・判断・表現</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・第2学期中間考査 ・授業プリントの記述内容 	
<p>主体的に学習に取り組む態度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・課題の記述内容 ・授業プリント・ノートの記述内容 ・言語活動の相互評価 	

単元	歌論の論理性について表現を確認しながら読み取った上で、それぞれの歌集・歌人の歌風の特徴や表現方法について考察しよう。(『無名抄』『おもて歌』『古今和歌集』『新古今和歌集』)	
評価期間	2学期 9～10月	
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特徴について理解を深めることができる。 ・古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価することを通して、我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりすることができる。 ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。 	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特徴について理解を深めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価することを通して、我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・歌論の論理性や、和歌独特の修辞や表現の特徴について理解した上で、それぞれの歌集・歌人の表現について多面的・多角的な視点から考察する活動を通して、我が国の言語文化について考えを広げたり深めたりすることに粘り強く取り組む中で、自らの学習を調整しようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・第2学期中間考査 ・古典文法テスト 	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・第2学期中間考査 ・言語活動プリントの記述内容 	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・課題の記述内容 ・授業プリント・ノートの記述内容 ・教師による行動観察 	

単元	これまでに培った知識や表現力、思考力を生かして問題演習に取り組むことで様々な古典作品に触れ、言語文化に対する考え方を深めよう。(問題演習)
評価期間	2学期 10～11月
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 ・文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えることができる。 ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・ 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容的に捉えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、文章の種類や古典特有の表現を踏まえて内容を的確に捉えようとする活動を通して、我が国の言語文化に対する自分の考えを深めることに粘り強く取り組む中で、自らの学習を調整しようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第2学期期末考査 ・ 古典文法・漢文句形テスト 	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第2学期期末考査 ・ 授業プリント・ノートの記述内容 	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 課題の記述内容 ・ 授業プリント・ノートの記述内容 ・ 教師による行動観察 	

令和6年度 3学期 国語科【古典探究】 評価規準

単 元	<p>これまでに培った知識や表現力、思考力を生かしてより難解な問題の演習に取り組むことで様々な古典作品を読み味わい、言語文化に対する考え方を広げたり深めたりしよう。(問題演習)</p>
評価期間	3学期 1月
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 ・ 必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価することができる。 ・ 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。	・必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。	・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈する活動を通して、我が国の言語文化に対する自分の考えを広げたり深めたりすることに粘り強く取り組む中で、自らの学習を調整しようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 単元テスト ・ 課題の記述内容 	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・ 単元テスト ・ 授業プリント・ノートの記述内容 	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 課題の記述内容 ・ 授業プリント・ノートの記述内容 ・ 教師による行動観察 	

国語科【古典探究】 評価規準

愛媛県立今治西高等学校 国語科

教 科	国語	科 目	古典探究		
単 位 数	1	学 年	3	類 型	Ⅲ類型
教 科 書	古典探究（大修館書店）				
科目目標	<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 2 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通じた先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 3 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。 				

令和6年度 1学期 国語科【古典探究】 評価規準

単元	長文の漢文を読解して鑑賞する能力を高めよう。(『十八史略』「水魚の交はり」)	
評価期間	1学期 4月	
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めることができる。 ・ 文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えることができる。 ・ 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養おうとする。 	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・ 古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。	・ 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。	・ 古典の作品や文章の種類について理解を深めた上で、構成や展開を捉えて長文の漢文を粘り強く読解する活動を通して、歴史上実在する人物の生き方を考察する中で、自らの学習を調整しようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第1学期中間考査 ・ 漢文句形テスト 	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第1学期中間考査 ・ 授業プリント・ノートの記述内容 	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 課題の記述内容 ・ 授業プリント・ノートの記述内容 ・ 教師による行動観察 	

単元	作品の内容を、執筆と流布の経緯に結び付けて理解しよう。(『枕草子』「二月つごもりごろに」)	
評価期間	1学期 4月～5月	
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めることができる。 ・ 作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察することができる。 ・ 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養おうとする。 	

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。	・「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。	・古典の作品に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深め、その成立背景や他の作品などとの関係を踏まえながら作品の価値を粘り強く考察する中で、自らの学習を調整しようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・第1学期中間考査 ・古典文法テスト 	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・第1学期中間考査 ・授業プリント・ノートの記述内容 	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・課題の記述内容 ・授業プリント・ノートの記述内容 ・教師による行動観察 	

単 元	唐宋八大家の作品を読み、作者の人生観や人間性について理解しよう。(『唐宋八家文読本』「師説」)	
評価期間	1学期 6月	
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めることができる。 ・古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりすることができる。 ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養おうとする。 	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。	・「読むこと」において、古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりしている。	・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深め、作品の内容を自分の知見と結び付けることを通して、自分と社会のあり方について考えを深めることに粘り強く取り組む中で、自らの学習を調整しようとしている。

観 点	評 価 内 容
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・第1学期期末考査 ・漢文句形テスト
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・第1学期期末考査 ・授業プリント・ノート記述内容
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・週末課題の記述内容 ・授業プリント・ノートの記述内容 ・教師による行動観察

単 元	和歌の修辞法や引き歌表現に注意しながら、登場人物の心中思惟を的確に捉え、人物造詣を把握しよう。(『源氏物語』『須磨の秋])	
評価期間	1学期 6～7月	
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めることができる。 ・古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりすることができる。 ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。 	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作品の内容を、日本の他の作品や中国の漢文と関連づけて読み、和歌特有の修辞などに留意しつつ人物造詣を把握する活動を通して、人間に対する自分の考えを広げたり深めたりすることに粘り強く取り組む中で、自らの学習を調整しようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・第1学期期末考査 ・古典文法テスト 	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・第1学期期末考査 ・言語活動プリントの記述内容 	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・課題の記述内容 ・授業プリント・ノートの記述内容 ・教師による行動観察 	

令和6年度 2学期 国語科【古典探究】 評価規準

<p>単元</p>	<p>『史記』の文章表現の妙味や、そこに用いられている故事成語などを理解し、言語感覚を豊かにしよう。(『史記』「勿頸の交わり」)</p>	
<p>評価期間</p>	<p>2学期 8～9月</p>	
<p>単元の目標</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・時間の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解を深めることができる。 ・必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価することができる。 ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。 	
<p>知識・技能</p>	<p>思考・判断・表現</p>	<p>主体的に学習に取り組む態度</p>
<p>・時間の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解を深めている。</p>	<p>・「読むこと」において、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。</p>	<p>・中国の古典作品が、故事成語を始めとして日本の言葉に多くの影響を与えていることを理解するとともに、作者の表現意図や目的を考えながら、その文章表現の妙味を味わい、評価することを通して、自分の言語感覚を豊かにすることに粘り強く取り組み、自らの学習を調整しようとしている。</p>
<p>観 点</p>	<p>評 価 内 容</p>	
<p>知識・技能</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・第2学期中間考査 ・漢文句形テスト 	
<p>思考・判断・表現</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・第2学期中間考査 ・授業プリントの記述内容 	
<p>主体的に学習に取り組む態度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・課題の記述内容 ・授業プリント・ノートの記述内容 ・言語活動の相互評価 	

単元	歌論の論理性について表現を確認しながら読み取った上で、それぞれの歌集・歌人の歌風の特徴や表現方法について考察しよう。(『無名抄』『おもて歌』『古今和歌集』『新古今和歌集』)	
評価期間	2学期 9～10月	
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特徴について理解を深めることができる。 ・古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価することを通して、我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりすることができる。 ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。 	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特徴について理解を深めている。	・古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価することを通して、我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりしている。	・歌論の論理性や、和歌独特の修辞や表現の特徴について理解した上で、それぞれの歌集・歌人の表現について多面的・多角的な視点から考察する活動を通して、我が国の言語文化について考えを広げたり深めたりすることに粘り強く取り組む中で、自らの学習を調整しようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・第2学期中間考査 ・古典文法テスト 	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・第2学期中間考査 ・言語活動プリントの記述内容 	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・課題の記述内容 ・授業プリント・ノートの記述内容 ・教師による行動観察 	

単元	これまでに培った知識や表現力、思考力を生かして問題演習に取り組むことで様々な古典作品に触れ、言語文化に対する考え方を深めよう。(問題演習)
評価期間	2学期 10～11月
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 ・文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えることができる。 ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・ 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容的に捉えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、文章の種類や古典特有の表現を踏まえて内容を的確に捉えようとする活動を通して、我が国の言語文化に対する自分の考えを深めることに粘り強く取り組む中で、自らの学習を調整しようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第2学期期末考査 ・ 古典文法・漢文句形テスト 	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第2学期期末考査 ・ 授業プリント・ノートの記述内容 	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 課題の記述内容 ・ 授業プリント・ノートの記述内容 ・ 教師による行動観察 	

令和6年度 3学期 国語科【古典探究】 評価規準

単 元	<p>これまでに培った知識や表現力、思考力を生かしてより難解な問題の演習に取り組むことで様々な古典作品を読み味わい、言語文化に対する考え方を広げたり深めたりしよう。(問題演習)</p>	
評価期間	3学期 1月	
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 ・ 必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価することができる。 ・ 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。 	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・ 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈する活動を通して、我が国の言語文化に対する自分の考えを広げたり深めたりすることに粘り強く取り組む中で、自らの学習を調整しようとしている。

観 点	評 価 内 容
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 単元テスト ・ 課題の記述内容
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・ 単元テスト ・ 授業プリント・ノートの記述内容
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 課題の記述内容 ・ 授業プリント・ノートの記述内容 ・ 教師による行動観察

地理歴史科【地理探究】 評価規準

愛媛県立今治西高等学校 地理歴史・公民科

教 科	地理歴史	科 目	地理探究		
単 位 数	4	学 年	3	類 型	I・II類型
教 科 書	新詳地理探究（帝国書院）		指 導 者		
科目目標	<p>社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 地理に関わる諸事象に関して、世界の空間的な諸事象の規則性、傾向性や、世界の諸地域の地域的特色や課題などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 2 地理に関わる事象の意味や意義特色や、相互の関連を位置や分布場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、系統地理的地誌的に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 3 地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深める。 				

令和6年度 1学期 地理歴史科【地理探究】 評価規準

単 元	第3章 交通・通信と観光、貿易 1節 交通・通信
評価期間	4月
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・交通・通信網と物流や人の移動に関する運輸、観光などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、交通・通信、観光に関わる問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解している。 ・交通・通信網と物流や人の移動に関する運輸、観光などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現している。 ・交通・通信、観光について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・社会や経済を大きく変化させた交通網や通信網の発達には、なぜ傾向や地域性、地域間格差が現れているかについて理解している。	・社会や経済を大きく変化させた交通網や通信網の発達には、なぜ傾向や地域性、地域間格差が現れているかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。	・交通・通信について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・第1学期中間考査 ・小テスト ・課題レポートの記述内容 	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・第1学期中間考査 ・小テスト ・課題レポートの記述内容 	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・課題レポートの記述内容 ・授業ノート、問題集などの記述内容 	

単 元	第3章 交通・通信と観光、貿易 2節 観光	
評価期間	4月	
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・交通・通信網と物流や人の移動に関する運輸、観光などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、交通・通信、観光に関わる問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解している。 ・交通・通信網と物流や人の移動に関する運輸、観光などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現している。 ・交通・通信、観光について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。 	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・日本での訪日外国人数を増やして観光産業などを盛んにしようとする取り組みや、観光の特徴や利点、課題について理解している。	・日本での訪日外国人数を増やして観光産業などを盛んにしようとする取り組みや、観光の特徴や利点、課題について、多面的・多角的に考察し、表現している。	・観光について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。

観 点	評 価 内 容
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・第1学期中間考査 ・小テスト ・課題レポートの記述内容
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・第1学期中間考査 ・小テスト ・課題レポートの記述内容
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・課題レポートの記述内容 ・授業ノート、問題集などの記述内容

単 元	第3章 交通・通信と観光、貿易 3節 貿易と経済圏	
評価期間	5月	
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・交通・通信網と物流や人の移動に関する運輸、観光などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、交通・通信、観光に関わる問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解している。 ・交通・通信網と物流や人の移動に関する運輸、観光などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現している。 ・交通・通信、観光について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。 	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・拡大が続いている世界の貿易では、地域性や地域間格差が現れてきているのはなぜかについて理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・拡大が続いている世界の貿易では、地域性や地域間格差が現れてきているのはなぜかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・貿易と経済圏について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・第1学期中間考査 ・小テスト ・課題レポートの記述内容 	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・第1学期中間考査 ・小テスト ・課題レポートの記述内容 	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・課題レポートの記述内容 ・授業ノート、問題集などの記述内容 	

単元	第4章 人口、村落・都市 1節 人口	
評価期間	5月	
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・人口、都市・村落などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、人口、居住・都市問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解している。 ・人口、都市・村落などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現している。 ・人口、村落・都市について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。 	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・増加する世界人口と世界各地の人口の増減や分布、年齢別構成、移動には、どのような特徴がみられるかについて理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・増加する世界人口と世界各地の人口の増減や分布、年齢別構成、移動には、どのような特徴がみられるかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人口について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・第1学期中間考査 ・小テスト ・課題レポートの記述内容 	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・第1学期中間考査 ・小テスト ・課題レポートの記述内容 	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・課題レポートの記述内容 ・授業ノート、問題集などの記述内容 	

単元	第4章 人口、村落・都市 2節 人口問題	
評価期間	6月	
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・人口、都市・村落などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、人口、居住・都市問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解している。 ・人口、都市・村落などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現している。 ・人口、村落・都市について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。 	

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・社会情勢や文化などのさまざまな要因によって異なる世界各国・各地域の人口規模・分布や、先進国と発展途上国の出生率の高低や高齢化の進行の違いについて理解している。	・社会情勢や文化などのさまざまな要因によって異なる世界各国・各地域の人口規模・分布や、先進国と発展途上国の出生率の高低や高齢化の進行の違いについて、多面的・多角的に考察し、表現している。	・人口問題について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・第1学期中間考査 ・小テスト ・課題レポートの記述内容 	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・第1学期中間考査 ・小テスト ・課題レポートの記述内容 	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・課題レポートの記述内容 ・授業ノート、問題集などの記述内容 	

単 元	第4章 人口、村落・都市 3節 村落と都市	
評価期間	6月	
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・人口、都市・村落などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、人口、居住・都市問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解している。 ・人口、都市・村落などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現している。 ・人口、村落・都市について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。 	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・村落や都市の立地や発達、形態、変容のしかたにみられる傾向や規則性、国や地域によって異なる地域性について理解している。	・村落や都市の立地や発達、形態、変容のしかたにみられる傾向や規則性、国や地域によって異なる地域性について、多面的・多角的に考察し、表現している。	・村落と都市について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。

観 点	評 価 内 容
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・第1学期期末考査 ・小テスト ・課題レポートの記述内容
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・第1学期期末考査 ・小テスト ・課題レポートの記述内容
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・課題レポートの記述内容 ・授業ノート、問題集などの記述内容

単 元	第4章 人口、村落・都市 4節 都市・居住問題	
評価期間	6月	
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・人口、都市・村落などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、人口、居住・都市問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解している。 ・人口、都市・村落などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現している。 ・人口、村落・都市について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。 	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・世界の都市が持続的に発展していくための課題、日本の都市の課題と解決するための取り組みについて理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・世界の都市が持続的に発展していくための課題、日本の都市の課題と解決するための取り組みについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・都市・居住問題について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・第1学期期末考査 ・小テスト ・課題レポートの記述内容 	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・第1学期期末考査 ・小テスト ・課題レポートの記述内容 	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・課題レポートの記述内容 ・授業ノート、問題集などの記述内容 	

令和6年度 2学期 地理歴史科【地理探究】 評価規準

単元	第5章 生活文化、民族・宗教 1節 衣食住	
評価期間	7月	
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> 生活文化、民族・宗教などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、民族、領土問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解している。 生活文化、民族・宗教などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現している。 生活文化、民族・宗教について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。 	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 自然環境や社会環境などを反映して形成されてきた伝統的な衣食住の生活文化にはどのような傾向があり、世界的な画一化の動きとどのように関わっているかについて理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 自然環境や社会環境などを反映して形成されてきた伝統的な衣食住の生活文化にはどのような傾向があり、世界的な画一化の動きとどのように関わっているかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 衣食住について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 第2学期中間考査 小テスト 課題レポートの記述内容 	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 第2学期中間考査 小テスト 課題レポートの記述内容 	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 課題レポートの記述内容 授業ノート、問題集などの記述内容 	

単元	第5章 生活文化、民族・宗教 2節 民族・宗教と民族問題	
評価期間	7月	
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> 生活文化、民族・宗教などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、民族、領土問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解している。 生活文化、民族・宗教などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現している。 生活文化、民族・宗教について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。 	

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・世界のさまざまな民族の言語や宗教の独自性、各地にみられる民族問題の背景との関わりについて理解している。	・世界のさまざまな民族の言語や宗教の独自性、各地にみられる民族問題の背景との関わりについて、多面的・多角的に考察し、表現している。	・民族・宗教と民族問題について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・第2学期中間考査 ・小テスト ・課題レポートの記述内容 	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・第2学期中間考査 ・小テスト ・課題レポートの記述内容 	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・課題レポートの記述内容 ・授業ノート、問題集などの記述内容 	

単 元	第5章生活文化、民族・宗教 3節 国家の領域と領土問題	
評価期間	9月	
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・生活文化、民族・宗教などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、民族、領土問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解している。 ・生活文化、民族・宗教などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現している。 ・生活文化、民族・宗教について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。 	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・国家の領域はさまざまな境界線で区分されていること、領域が定められたり領域が変更されたり国家が誕生したりすることで問題が起こっていることについて理解している。	・国家の領域はさまざまな境界線で区分されていること、領域が定められたり領域が変更されたり国家が誕生したりすることで問題が起こっていることについて、多面的・多角的に考察し、表現している。	・国家の領域と領土問題について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。

観 点	評 価 内 容
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・第2学期中間考査 ・小テスト ・課題レポートの記述内容
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・第2学期中間考査 ・小テスト ・課題レポートの記述内容
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・課題レポートの記述内容 ・授業ノート、問題集などの記述内容

単 元	第2部 現代世界の地誌的考察 第2章 現代世界の諸地域 1節 中国	
評価期間	9月	
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・いくつかの地域に区分した現代世界の諸地域をもとに、諸地域にみられる地域的特色や地球的課題などについて理解している。また、いくつかの地域に区分した現代世界の諸地域をもとに、地域の結びつき、構造や変容などを地誌的に考察する方法などについても理解している。 ・現代世界の諸地域について、地域の結びつき、構造や変容などに着目して、主題を設定し、地域的特色や地球的課題などを多面的・多角的に考察し、表現している。 ・現代世界の諸地域について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。 	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・工業化や経済発展が著しく、世界経済に大きな影響を与えている中国について、民族や産業など地域を構成するさまざまな事象を項目ごとに整理して理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・工業化や経済発展が著しく、世界経済に大きな影響を与えている中国について、民族や産業など地域を構成するさまざまな事象を項目ごとに整理して、多面的・多角的に考察し、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中国について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・第2学期中間考査 ・小テスト ・課題レポートの記述内容 	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・第2学期中間考査 ・小テスト ・課題レポートの記述内容 	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・課題レポートの記述内容 ・授業ノート、問題集などの記述内容 	

単元	第2部 現代世界の地誌的考察 第2章 現代世界の諸地域 2節 韓国	
評価期間	9月	
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・いくつかの地域に区分した現代世界の諸地域をもとに、諸地域にみられる地域的特色や地球的課題などについて理解している。また、いくつかの地域に区分した現代世界の諸地域をもとに、地域の結びつき、構造や変容などを地誌的に考察する方法などについても理解している。 ・現代世界の諸地域について、地域の結びつき、構造や変容などに着目して、主題を設定し、地域的特色や地球的課題などを多面的・多角的に考察し、表現している。 ・現代世界の諸地域について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。 	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・日本と地理的な距離が近く、急速な経済成長を遂げている韓国について、自然環境や歴史と生活文化、産業など地域を構成するさまざまな事象を項目ごとに整理して理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本と地理的な距離が近く、急速な経済成長を遂げている韓国について、自然環境や歴史と生活文化、産業など地域を構成するさまざまな事象を項目ごとに整理して、多面的・多角的に考察し、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・韓国について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・第2学期中間考査 ・小テスト ・課題レポートの記述内容 	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・第2学期中間考査 ・小テスト ・課題レポートの記述内容 	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・課題レポートの記述内容 ・授業ノート、問題集などの記述内容 	

単元	第2部 現代世界の地誌的考察 第2章 現代世界の諸地域 3節 ASEAN 諸国	
評価期間	9月	
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・いくつかの地域に区分した現代世界の諸地域をもとに、諸地域にみられる地域的特色や地球的課題などについて理解している。また、いくつかの地域に区分した現代世界の諸地域をもとに、地域の結びつき、構造や変容などを地誌的に考察する方法などについても理解している。 ・現代世界の諸地域について、地域の結びつき、構造や変容などに着目して、主題を設定し、地域的特色や地球的課題などを多面的・多角的に考察し、表現している。 ・現代世界の諸地域について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。 	

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・古くから農業が盛んで、近年急速に工業化が進んでいるASEAN 諸国について、文化・民族や産業など地域を構成するさまざまな事象を項目ごとに整理して理解している。	・古くから農業が盛んで、近年急速に工業化が進んでいるASEAN 諸国について、文化・民族や産業など地域を構成するさまざまな事象を項目ごとに整理して、多面的・多角的に考察し、表現している。	・ASEAN 諸国について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・第2学期中間考査 ・小テスト ・課題レポートの記述内容 	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・第2学期中間考査 ・小テスト ・課題レポートの記述内容 	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・課題レポートの記述内容 ・授業ノート、問題集などの記述内容 	

単 元	第2部 現代世界の地誌的考察 第2章 現代世界の諸地域 4節 インド	
評価期間	10月	
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・いくつかの地域に区分した現代世界の諸地域をもとに、諸地域にみられる地域的特色や地球的課題などについて理解している。また、いくつかの地域に区分した現代世界の諸地域をもとに、地域の結びつき、構造や変容などを地誌的に考察する方法などについても理解している。 ・現代世界の諸地域について、地域の結びつき、構造や変容などに着目して、主題を設定し、地域的特色や地球的課題などを多面的・多角的に考察し、表現している。 ・現代世界の諸地域について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。 	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・近年急速に経済が成長しているインドについて、産業の発展や農村・社会の変化、国内の経済格差をはじめとする課題を、経済成長に関連づけて理解している。	・近年急速に経済が成長しているインドについて、産業の発展や農村・社会の変化、国内の経済格差をはじめとする課題を、経済成長に関連づけて、多面的・多角的に考察し、表現している。	・インドについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。

観 点	評 価 内 容
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・第2学期中間考査 ・小テスト ・課題レポートの記述内容
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・第2学期中間考査 ・小テスト ・課題レポートの記述内容
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・課題レポートの記述内容 ・授業ノート、問題集などの記述内容

単 元	第2部 現代世界の地誌的考察 第2章 現代世界の諸地域 5節 西アジアと中央アジア	
評価期間	10月	
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・いくつかの地域に区分した現代世界の諸地域をもとに、諸地域にみられる地域的特色や地球的課題などについて理解している。また、いくつかの地域に区分した現代世界の諸地域をもとに、地域の結びつき、構造や変容などを地誌的に考察する方法などについても理解している。 ・現代世界の諸地域について、地域の結びつき、構造や変容などに着目して、主題を設定し、地域的特色や地球的課題などを多面的・多角的に考察し、表現している。 ・現代世界の諸地域について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。 	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・自然環境や生活文化で共通点が多くみられるが、異なる歴史的経緯や地域ごとの特殊性もある西アジアと中央アジアについて、二つの地域を比較し、一般性や地域の特殊性を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自然環境や生活文化で共通点が多くみられるが、異なる歴史的経緯や地域ごとの特殊性もある西アジアと中央アジアについて、二つの地域を比較し、一般性や地域の特殊性を多面的・多角的に考察し、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・西アジアと中央アジアについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・第2学期期末考査 ・小テスト ・課題レポートの記述内容 	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・第2学期期末考査 ・小テスト ・課題レポートの記述内容 	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・課題レポートの記述内容 ・授業ノート、問題集などの記述内容 	

単元	第2部 現代世界の地誌的考察 第2章 現代世界の諸地域 6節 北アフリカとサハラ以南アフリカ	
評価期間	10月	
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・いくつかの地域に区分した現代世界の諸地域をもとに、諸地域にみられる地域的特色や地球的課題などについて理解している。また、いくつかの地域に区分した現代世界の諸地域をもとに、地域の結びつき、構造や変容などを地誌的に考察する方法などについても理解している。 ・現代世界の諸地域について、地域の結びつき、構造や変容などに着目して、主題を設定し、地域的特色や地球的課題などを多面的・多角的に考察し、表現している。 ・現代世界の諸地域について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。 	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・アフリカとしてのまとまりをもっている一方で、大きく異なる点も多々ある北アフリカとサハラ以南アフリカについて、二つの地域を比較し、類似する一般性や地域の特殊性を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アフリカとしてのまとまりをもっている一方で、大きく異なる点も多々ある北アフリカとサハラ以南アフリカについて、二つの地域を比較し、類似する一般性や地域の特殊性を、多面的・多角的に考察し、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・北アフリカとサハラ以南アフリカについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・第2学期期末考査 ・小テスト ・課題レポートの記述内容 	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・第2学期期末考査 ・小テスト ・課題レポートの記述内容 	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・課題レポートの記述内容 ・授業ノート、問題集などの記述内容 	

単元	第2部 現代世界の地誌的考察 第2章 現代世界の諸地域 7節 EU 諸国	
評価期間	11月	
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・いくつかの地域に区分した現代世界の諸地域をもとに、諸地域にみられる地域的特色や地球的課題などについて理解している。また、いくつかの地域に区分した現代世界の諸地域をもとに、地域の結びつき、構造や変容などを地誌的に考察する方法などについても理解している。 ・現代世界の諸地域について、地域の結びつき、構造や変容などに着目して、主題を設定し、地域的特色や地球的課題などを多面的・多角的に考察し、表現している。 ・現代世界の諸地域について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。 	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・二度の世界大戦を機にEUを中心とした政治・経済の統合を進めているヨーロッパについて、民族や産業など地域を構成するさまざまな事象を項目ごとに整理して理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・二度の世界大戦を機にEUを中心とした政治・経済の統合を進めているヨーロッパについて、民族や産業など地域を構成するさまざまな事象を項目ごとに整理して、多面的・多角的に考察し、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・EU 諸国について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・第2学期期末考査 ・小テスト ・課題レポートの記述内容 	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・第2学期期末考査 ・小テスト ・課題レポートの記述内容 	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・課題レポートの記述内容 ・授業ノート、問題集などの記述内容 	

単元	第2部 現代世界の地誌的考察 第2章 現代世界の諸地域 8節 ロシア	
評価期間	10月	
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・いくつかの地域に区分した現代世界の諸地域をもとに、諸地域にみられる地域的特色や地球的課題などについて理解している。また、いくつかの地域に区分した現代世界の諸地域をもとに、地域の結びつき、構造や変容などを地誌的に考察する方法などについても理解している。 ・現代世界の諸地域について、地域の結びつき、構造や変容などに着目して、主題を設定し、地域的特色や地球的課題などを多面的・多角的に考察し、表現している。 ・現代世界の諸地域について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。 	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・かつて社会主義国だったが、1990年代に国家体制が変化し、現在は新しい国づくりを進めているロシアについて、農業や工業を国家体制の変化に関連づけて理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・かつて社会主義国だったが、1990年代に国家体制が変化し、現在は新しい国づくりを進めているロシアについて、農業や工業を国家体制の変化に関連づけて、多面的・多角的に考察し、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ロシアについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・第2学期期末考査 ・小テスト ・課題レポートの記述内容 	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・第2学期期末考査 ・小テスト ・課題レポートの記述内容 	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・課題レポートの記述内容 ・授業ノート、問題集などの記述内容 	

<p style="text-align: center;">単 元</p>	<p>第2部 現代世界の地誌的考察 第2章 現代世界の諸地域 9節 アメリカ合衆国</p>	
<p style="text-align: center;">評価期間</p>	<p>11月</p>	
<p style="text-align: center;">単元の目標</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・いくつかの地域に区分した現代世界の諸地域をもとに、諸地域にみられる地域的特色や地球的課題などについて理解している。また、いくつかの地域に区分した現代世界の諸地域をもとに、地域の結びつき、構造や変容などを地誌的に考察する方法などについても理解している。 ・現代世界の諸地域について、地域の結びつき、構造や変容などに着目して、主題を設定し、地域的特色や地球的課題などを多面的・多角的に考察し、表現している。 ・現代世界の諸地域について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。 	
<p style="text-align: center;">知識・技能</p>	<p style="text-align: center;">思考・判断・表現</p>	<p style="text-align: center;">主体的に学習に取り組む態度</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・移民国家としての多様性を持ち、世界有数の農業国であり、先端技術産業でも世界をリードしているアメリカ合衆国について、地域を構成するさまざまな事象を項目ごとに整理して理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・移民国家としての多様性を持ち、世界有数の農業国であり、先端技術産業でも世界をリードしているアメリカ合衆国について、地域を構成するさまざまな事象を項目ごとに整理して、多面的・多角的に考察し、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アメリカ合衆国について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。
<p style="text-align: center;">観 点</p>	<p style="text-align: center;">評 価 内 容</p>	
<p style="text-align: center;">知識・技能</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・第2学期期末考査 ・小テスト ・課題レポートの記述内容 	
<p style="text-align: center;">思考・判断・表現</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・第2学期期末考査 ・小テスト ・課題レポートの記述内容 	
<p style="text-align: center;">主体的に学習に取り組む態度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・課題レポートの記述内容 ・授業ノート、問題集などの記述内容 	

<p style="text-align: center;">単 元</p>	<p>第2部 現代世界の地誌的考察 第2章 現代世界の諸地域 10節 ラテンアメリカ</p>	
<p style="text-align: center;">評価期間</p>	<p>11月</p>	
<p style="text-align: center;">単元の目標</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・いくつかの地域に区分した現代世界の諸地域をもとに、諸地域にみられる地域的特色や地球的課題などについて理解している。また、いくつかの地域に区分した現代世界の諸地域をもとに、地域の結びつき、構造や変容などを地誌的に考察する方法などについても理解している。 ・現代世界の諸地域について、地域の結びつき、構造や変容などに着目して、主題を設定し、地域的特色や地球的課題などを多面的・多角的に考察し、表現している。 ・現代世界の諸地域について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。 	
<p style="text-align: center;">知識・技能</p>	<p style="text-align: center;">思考・判断・表現</p>	<p style="text-align: center;">主体的に学習に取り組む態度</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・かつてヨーロッパ諸国の植民地であった歴史的背景があり、それが人々の生活や現在の産業にも深く関わっているラテンアメリカについて、文化や農業・工業をヨーロッパの影響と関連づけて理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・かつてヨーロッパ諸国の植民地であった歴史的背景があり、それが人々の生活や現在の産業にも深く関わっているラテンアメリカについて、文化や農業・工業をヨーロッパの影響と関連づけて、多面的・多角的に考察し、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ラテンアメリカについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。
<p style="text-align: center;">観 点</p>	<p style="text-align: center;">評 価 内 容</p>	
<p style="text-align: center;">知識・技能</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・第2学期期末考査 ・小テスト ・課題レポートの記述内容 	
<p style="text-align: center;">思考・判断・表現</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・第2学期期末考査 ・小テスト ・課題レポートの記述内容 	
<p style="text-align: center;">主体的に学習に取り組む態度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・課題レポートの記述内容 ・授業ノート、問題集などの記述内容 	

単元	第2部 現代世界の地誌的考察 第2章 現代世界の諸地域 11節 オーストラリアとニュージーランド	
評価期間	11月	
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・いくつかの地域に区分した現代世界の諸地域をもとに、諸地域にみられる地域的特色や地球的課題などについて理解している。また、いくつかの地域に区分した現代世界の諸地域をもとに、地域の結びつき、構造や変容などを地誌的に考察する方法などについても理解している。 ・現代世界の諸地域について、地域の結びつき、構造や変容などに着目して、主題を設定し、地域的特色や地球的課題などを多面的・多角的に考察し、表現している。 ・現代世界の諸地域について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。 	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・南半球にある地理的位置や移民の国という共通点があるが、自然環境や産業で違いもみられるオーストラリアとニュージーランドについて、二つの国を比較し、類似する一般性や地域の特殊性を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・南半球にある地理的位置や移民の国という共通点があるが、自然環境や産業で違いもみられるオーストラリアとニュージーランドについて、二つの国を比較し、類似する一般性や地域の特殊性を、多面的・多角的に考察し、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・オーストラリアとニュージーランドについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・第2学期期末考査 ・小テスト ・課題レポートの記述内容 	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・第2学期期末考査 ・小テスト ・課題レポートの記述内容 	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・課題レポートの記述内容 ・授業ノート、問題集などの記述内容 	

令和6年度 3学期 地理歴史科【地理探究】 評価規準

単元	第3部 現代世界におけるこれからの日本の国土像 第1章 持続可能な国土像の探究 1節 将来の国土の在り方	
評価期間	1月	
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・現代世界におけるこれからの日本の国土像の探究をもとに、我が国が抱える地理的な諸課題の解決の方向性や将来の国土の在り方などを構想することの重要性や、探究する手法などについて理解している。 ・現代世界におけるこれからの日本の国土像について、地域の結びつき、構造や変容、持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、我が国が抱える地理的な諸課題の解決の方向性や将来の国土の在り方などを多面的・多角的に探究し、表現している。 ・持続可能な国土像の探究について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に探究しようとしている。 	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・日本の強みをより生かせる将来について考え、持続可能な社会を構築していくには、どのようなことに取り組めばよいかについて理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の強みをより生かせる将来について考え、持続可能な社会を構築していくには、どのようなことに取り組めばよいかについて、多面的・多角的に探究し、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・将来の国土の在り方について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に探究しようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・第2学期期末考査 ・小テスト ・課題レポートの記述内容 	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・第2学期期末考査 ・小テスト ・課題レポートの記述内容 	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・課題レポートの記述内容 ・授業ノート、問題集などの記述内容 	

<p style="text-align: center;">単 元</p>	<p>第3部 現代世界におけるこれからの日本の国土像 第1章 持続可能な国土像の探究 2節 持続可能な日本の国土像の探究</p>	
<p style="text-align: center;">評価期間</p>	<p>1月</p>	
<p style="text-align: center;">単元の目標</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・現代世界におけるこれからの日本の国土像の探究をもとに、我が国が抱える地理的な諸課題の解決の方向性や将来の国土の在り方などを構想することの重要性や、探究する手法などについて理解している。 ・現代世界におけるこれからの日本の国土像について、地域の結びつき、構造や変容、持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、我が国が抱える地理的な諸課題の解決の方向性や将来の国土の在り方などを多面的・多角的に探究し、表現している。 ・持続可能な国土像の探究について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に探究しようとしている。 	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・現代の日本の社会が抱える地理的な諸課題を解決し、持続可能な社会を目指すためには、どのような国土の在り方が望ましいかについて理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現代の日本の社会が抱える地理的な諸課題を解決し、持続可能な社会を目指すためには、どのような国土の在り方が望ましいかについて、多面的・多角的に探究し、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な日本の国土像の探究について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に探究しようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・第2学期期末考査 ・小テスト ・課題レポートの記述内容 	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・第2学期期末考査 ・小テスト ・課題レポートの記述内容 	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・課題レポートの記述内容 ・授業ノート、問題集などの記述内容 	

地理歴史科【地理探究】 評価規準

愛媛県立今治西高等学校 地理歴史・公民科

教 科	地理歴史	科 目	地理探究		
単 位 数	3	学 年	3	類 型	Ⅲ類型
教 科 書	新詳地理探究（帝国書院）		指 導 者		
科目目標	<p>社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>1 地理に関わる諸事象に関して、世界の空間的な諸事象の規則性、傾向性や、世界の諸地域の地域的特色や課題などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>2 地理に関わる事象の意味や意義特色や、相互の関連を位置や分布場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、系統地理的地誌的に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p> <p>3 地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとするものの大切さについての自覚などを深める。</p>				

令和6年度 1学期 地理歴史科【地理探究】 評価規準

単 元	第3章 交通・通信と観光、貿易 1節 交通・通信
評価期間	4月
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・交通・通信網と物流や人の移動に関する運輸、観光などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、交通・通信、観光に関わる問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解している。 ・交通・通信網と物流や人の移動に関する運輸、観光などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現している。 ・交通・通信、観光について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・社会や経済を大きく変化させた交通網や通信網の発達には、なぜ傾向や地域性、地域間格差が現れているかについて理解している。	・社会や経済を大きく変化させた交通網や通信網の発達には、なぜ傾向や地域性、地域間格差が現れているかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。	・交通・通信について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・第1学期中間考査 ・小テスト ・課題レポートの記述内容 	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・第1学期中間考査 ・小テスト ・課題レポートの記述内容 	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・課題レポートの記述内容 ・授業ノート、問題集などの記述内容 	

単 元	第3章 交通・通信と観光、貿易 2節 観光	
評価期間	4月	
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・交通・通信網と物流や人の移動に関する運輸、観光などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、交通・通信、観光に関わる問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解している。 ・交通・通信網と物流や人の移動に関する運輸、観光などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現している。 ・交通・通信、観光について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。 	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・日本での訪日外国人数を増やして観光産業などを盛んにしようとする取り組みや、観光の特徴や利点、課題について理解している。	・日本での訪日外国人数を増やして観光産業などを盛んにしようとする取り組みや、観光の特徴や利点、課題について、多面的・多角的に考察し、表現している。	・観光について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。

観 点	評 価 内 容
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・第1学期中間考査 ・小テスト ・課題レポートの記述内容
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・第1学期中間考査 ・小テスト ・課題レポートの記述内容
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・課題レポートの記述内容 ・授業ノート、問題集などの記述内容

単 元	第3章 交通・通信と観光、貿易 3節 貿易と経済圏	
評価期間	5月	
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・交通・通信網と物流や人の移動に関する運輸、観光などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、交通・通信、観光に関わる問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解している。 ・交通・通信網と物流や人の移動に関する運輸、観光などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現している。 ・交通・通信、観光について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。 	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・拡大が続いている世界の貿易では、地域性や地域間格差が現れてきているのはなぜかについて理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・拡大が続いている世界の貿易では、地域性や地域間格差が現れてきているのはなぜかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・貿易と経済圏について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・第1学期中間考査 ・小テスト ・課題レポートの記述内容 	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・第1学期中間考査 ・小テスト ・課題レポートの記述内容 	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・課題レポートの記述内容 ・授業ノート、問題集などの記述内容 	

単元	第4章 人口、村落・都市 1節 人口	
評価期間	5月	
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・人口、都市・村落などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、人口、居住・都市問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解している。 ・人口、都市・村落などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現している。 ・人口、村落・都市について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。 	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・増加する世界人口と世界各地の人口の増減や分布、年齢別構成、移動には、どのような特徴がみられるかについて理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・増加する世界人口と世界各地の人口の増減や分布、年齢別構成、移動には、どのような特徴がみられるかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人口について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・第1学期中間考査 ・小テスト ・課題レポートの記述内容 	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・第1学期中間考査 ・小テスト ・課題レポートの記述内容 	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・課題レポートの記述内容 ・授業ノート、問題集などの記述内容 	

単元	第4章 人口、村落・都市 2節 人口問題	
評価期間	6月	
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・人口、都市・村落などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、人口、居住・都市問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解している。 ・人口、都市・村落などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現している。 ・人口、村落・都市について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。 	

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・社会情勢や文化などのさまざまな要因によって異なる世界各国・各地域の人口規模・分布や、先進国と発展途上国の出生率の高低や高齢化の進行の違いについて理解している。	・社会情勢や文化などのさまざまな要因によって異なる世界各国・各地域の人口規模・分布や、先進国と発展途上国の出生率の高低や高齢化の進行の違いについて、多面的・多角的に考察し、表現している。	・人口問題について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・第1学期中間考査 ・小テスト ・課題レポートの記述内容 	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・第1学期中間考査 ・小テスト ・課題レポートの記述内容 	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・課題レポートの記述内容 ・授業ノート、問題集などの記述内容 	

単 元	第4章 人口、村落・都市 3節 村落と都市	
評価期間	6月	
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・人口、都市・村落などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、人口、居住・都市問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解している。 ・人口、都市・村落などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現している。 ・人口、村落・都市について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。 	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・村落や都市の立地や発達、形態、変容のしかたにみられる傾向や規則性、国や地域によって異なる地域性について理解している。	・村落や都市の立地や発達、形態、変容のしかたにみられる傾向や規則性、国や地域によって異なる地域性について、多面的・多角的に考察し、表現している。	・村落と都市について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。

観 点	評 価 内 容
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・第1学期期末考査 ・小テスト ・課題レポートの記述内容
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・第1学期期末考査 ・小テスト ・課題レポートの記述内容
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・課題レポートの記述内容 ・授業ノート、問題集などの記述内容

単 元	第4章 人口、村落・都市 4節 都市・居住問題	
評価期間	6月	
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・人口、都市・村落などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、人口、居住・都市問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解している。 ・人口、都市・村落などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現している。 ・人口、村落・都市について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。 	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・世界の都市が持続的に発展していくための課題、日本の都市の課題と解決するための取り組みについて理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・世界の都市が持続的に発展していくための課題、日本の都市の課題と解決するための取り組みについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・都市・居住問題について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・第1学期期末考査 ・小テスト ・課題レポートの記述内容 	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・第1学期期末考査 ・小テスト ・課題レポートの記述内容 	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・課題レポートの記述内容 ・授業ノート、問題集などの記述内容 	

令和6年度 2学期 地理歴史科【地理探究】 評価規準

単元	第5章 生活文化、民族・宗教 1節 衣食住	
評価期間	7月	
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> 生活文化、民族・宗教などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、民族、領土問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解している。 生活文化、民族・宗教などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現している。 生活文化、民族・宗教について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。 	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 自然環境や社会環境などを反映して形成されてきた伝統的な衣食住の生活文化にはどのような傾向があり、世界的な画一化の動きとどのように関わっているかについて理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 自然環境や社会環境などを反映して形成されてきた伝統的な衣食住の生活文化にはどのような傾向があり、世界的な画一化の動きとどのように関わっているかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 衣食住について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 第2学期中間考査 小テスト 課題レポートの記述内容 	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 第2学期中間考査 小テスト 課題レポートの記述内容 	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 課題レポートの記述内容 授業ノート、問題集などの記述内容 	

単元	第5章 生活文化、民族・宗教 2節 民族・宗教と民族問題	
評価期間	7月	
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> 生活文化、民族・宗教などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、民族、領土問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解している。 生活文化、民族・宗教などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現している。 生活文化、民族・宗教について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。 	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 世界のさまざまな民族の言語や宗教の独自性、各地にみられる民族問題の背景とのに関わりについて理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 世界のさまざまな民族の言語や宗教の独自性、各地にみられる民族問題の背景とのに関わりについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 民族・宗教と民族問題について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 第2学期中間考査 小テスト 課題レポートの記述内容 	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 第2学期中間考査 小テスト 課題レポートの記述内容 	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 課題レポートの記述内容 授業ノート、問題集などの記述内容 	

単元	第5章生活文化、民族・宗教 3節 国家の領域と領土問題	
評価期間	9月	
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> 生活文化、民族・宗教などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、民族、領土問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解している。 生活文化、民族・宗教などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現している。 生活文化、民族・宗教について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。 	

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・ 国家の領域はさまざまな境界線で区分されていること、領域が定められたり領域が変更されたり国家が誕生したりすることで問題が起こっていることについて理解している。	・ 国家の領域はさまざまな境界線で区分されていること、領域が定められたり領域が変更されたり国家が誕生したりすることで問題が起こっていることについて、多面的・多角的に考察し、表現している。	・ 国家の領域と領土問題について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第2学期中間考査 ・ 小テスト ・ 課題レポートの記述内容 	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第2学期中間考査 ・ 小テスト ・ 課題レポートの記述内容 	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 課題レポートの記述内容 ・ 授業ノート、問題集などの記述内容 	

単 元	第2部 現代世界の地誌的考察 第2章 現代世界の諸地域 1節 中国	
評価期間	9月	
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ いくつかの地域に区分した現代世界の諸地域をもとに、諸地域にみられる地域的特色や地球的課題などについて理解している。また、いくつかの地域に区分した現代世界の諸地域をもとに、地域の結びつき、構造や変容などを地誌的に考察する方法などについても理解している。 ・ 現代世界の諸地域について、地域の結びつき、構造や変容などに着目して、主題を設定し、地域的特色や地球的課題などを多面的・多角的に考察し、表現している。 ・ 現代世界の諸地域について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。 	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・ 工業化や経済発展が著しく、世界経済に大きな影響を与えている中国について、民族や産業など地域を構成するさまざまな事象を項目ごとに整理して理解している。	・ 工業化や経済発展が著しく、世界経済に大きな影響を与えている中国について、民族や産業など地域を構成するさまざまな事象を項目ごとに整理して、多面的・多角的に考察し、表現している。	・ 中国について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。

観 点	評 価 内 容
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・第2学期中間考査 ・小テスト ・課題レポートの記述内容
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・第2学期中間考査 ・小テスト ・課題レポートの記述内容
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・課題レポートの記述内容 ・授業ノート、問題集などの記述内容

単 元	第2部 現代世界の地誌的考察 第2章 現代世界の諸地域 2節 韓国	
評価期間	9月	
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・いくつかの地域に区分した現代世界の諸地域をもとに、諸地域にみられる地域的特色や地球的課題などについて理解している。また、いくつかの地域に区分した現代世界の諸地域をもとに、地域の結びつき、構造や変容などを地誌的に考察する方法などについても理解している。 ・現代世界の諸地域について、地域の結びつき、構造や変容などに着目して、主題を設定し、地域的特色や地球的課題などを多面的・多角的に考察し、表現している。 ・現代世界の諸地域について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。 	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・日本と地理的な距離が近く、急速な経済成長を遂げている韓国について、自然環境や歴史と生活文化、産業など地域を構成するさまざまな事象を項目ごとに整理して理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本と地理的な距離が近く、急速な経済成長を遂げている韓国について、自然環境や歴史と生活文化、産業など地域を構成するさまざまな事象を項目ごとに整理して、多面的・多角的に考察し、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・韓国について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・第2学期中間考査 ・小テスト ・課題レポートの記述内容 	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・第2学期中間考査 ・小テスト ・課題レポートの記述内容 	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・課題レポートの記述内容 ・授業ノート、問題集などの記述内容 	

単元	第2部 現代世界の地誌的考察 第2章 現代世界の諸地域 3節 ASEAN 諸国	
評価期間	9月	
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・いくつかの地域に区分した現代世界の諸地域をもとに、諸地域にみられる地域的特色や地球的課題などについて理解している。また、いくつかの地域に区分した現代世界の諸地域をもとに、地域の結びつき、構造や変容などを地誌的に考察する方法などについても理解している。 ・現代世界の諸地域について、地域の結びつき、構造や変容などに着目して、主題を設定し、地域的特色や地球的課題などを多面的・多角的に考察し、表現している。 ・現代世界の諸地域について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。 	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・古くから農業が盛んで、近年急速に工業化が進んでいるASEAN 諸国について、文化・民族や産業など地域を構成するさまざまな事象を項目ごとに整理して理解している。	・古くから農業が盛んで、近年急速に工業化が進んでいるASEAN 諸国について、文化・民族や産業など地域を構成するさまざまな事象を項目ごとに整理して、多面的・多角的に考察し、表現している。	・ASEAN 諸国について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・第2学期中間考査 ・小テスト ・課題レポートの記述内容 	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・第2学期中間考査 ・小テスト ・課題レポートの記述内容 	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・課題レポートの記述内容 ・授業ノート、問題集などの記述内容 	

単元	第2部 現代世界の地誌的考察 第2章 現代世界の諸地域 4節 インド	
評価期間	10月	
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・いくつかの地域に区分した現代世界の諸地域をもとに、諸地域にみられる地域的特色や地球的課題などについて理解している。また、いくつかの地域に区分した現代世界の諸地域をもとに、地域の結びつき、構造や変容などを地誌的に考察する方法などについても理解している。 ・現代世界の諸地域について、地域の結びつき、構造や変容などに着目して、主題を設定し、地域的特色や地球的課題などを多面的・多角的に考察し、表現している。 ・現代世界の諸地域について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。 	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・近年急速に経済が成長しているインドについて、産業の発展や農村・社会の変化、国内の経済格差をはじめとする課題を、経済成長に関連づけて理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・近年急速に経済が成長しているインドについて、産業の発展や農村・社会の変化、国内の経済格差をはじめとする課題を、経済成長に関連づけて、多面的・多角的に考察し、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・インドについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・第2学期中間考査 ・小テスト ・課題レポートの記述内容 	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・第2学期中間考査 ・小テスト ・課題レポートの記述内容 	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・課題レポートの記述内容 ・授業ノート、問題集などの記述内容 	

単元	第2部 現代世界の地誌的考察 第2章 現代世界の諸地域 5節 西アジアと中央アジア	
評価期間	10月	
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・いくつかの地域に区分した現代世界の諸地域をもとに、諸地域にみられる地域的特色や地球的課題などについて理解している。また、いくつかの地域に区分した現代世界の諸地域をもとに、地域の結びつき、構造や変容などを地誌的に考察する方法などについても理解している。 ・現代世界の諸地域について、地域の結びつき、構造や変容などに着目して、主題を設定し、地域的特色や地球的課題などを多面的・多角的に考察し、表現している。 ・現代世界の諸地域について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。 	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・自然環境や生活文化で共通点が多くみられるが、異なる歴史的経緯や地域ごとの特殊性もある西アジアと中央アジアについて、二つの地域を比較し、一般性や地域の特殊性を理解している。	・自然環境や生活文化で共通点が多くみられるが、異なる歴史的経緯や地域ごとの特殊性もある西アジアと中央アジアについて、二つの地域を比較し、一般性や地域の特殊性を多面的・多角的に考察し、表現している。	・西アジアと中央アジアについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・第2学期期末考査 ・小テスト ・課題レポートの記述内容 	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・第2学期期末考査 ・小テスト ・課題レポートの記述内容 	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・課題レポートの記述内容 ・授業ノート、問題集などの記述内容 	

単元	第2部 現代世界の地誌的考察 第2章 現代世界の諸地域 6節 北アフリカとサハラ以南アフリカ	
評価期間	10月	
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・いくつかの地域に区分した現代世界の諸地域をもとに、諸地域にみられる地域的特色や地球的課題などについて理解している。また、いくつかの地域に区分した現代世界の諸地域をもとに、地域の結びつき、構造や変容などを地誌的に考察する方法などについても理解している。 ・現代世界の諸地域について、地域の結びつき、構造や変容などに着目して、主題を設定し、地域的特色や地球的課題などを多面的・多角的に考察し、表現している。 ・現代世界の諸地域について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。 	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・アフリカとしてのまとまりをもっている一方で、大きく異なる点も多々ある北アフリカとサハラ以南アフリカについて、二つの地域を比較し、類似する一般性や地域の特殊性を理解している。	・アフリカとしてのまとまりをもっている一方で、大きく異なる点も多々ある北アフリカとサハラ以南アフリカについて、二つの地域を比較し、類似する一般性や地域の特殊性を、多面的・多角的に考察し、表現している。	・北アフリカとサハラ以南アフリカについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・第2学期期末考査 ・小テスト ・課題レポートの記述内容 	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・第2学期期末考査 ・小テスト ・課題レポートの記述内容 	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・課題レポートの記述内容 ・授業ノート、問題集などの記述内容 	

単元	第2部 現代世界の地誌的考察 第2章 現代世界の諸地域 7節 EU諸国	
評価期間	11月	
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・いくつかの地域に区分した現代世界の諸地域をもとに、諸地域にみられる地域的特色や地球的課題などについて理解している。また、いくつかの地域に区分した現代世界の諸地域をもとに、地域の結びつき、構造や変容などを地誌的に考察する方法などについても理解している。 ・現代世界の諸地域について、地域の結びつき、構造や変容などに着目して、主題を設定し、地域的特色や地球的課題などを多面的・多角的に考察し、表現している。 ・現代世界の諸地域について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。 	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・二度の世界大戦を機にEUを中心とした政治・経済の統合を進めているヨーロッパについて、民族や産業など地域を構成するさまざまな事象を項目ごとに整理して理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・二度の世界大戦を機にEUを中心とした政治・経済の統合を進めているヨーロッパについて、民族や産業など地域を構成するさまざまな事象を項目ごとに整理して、多面的・多角的に考察し、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・EU諸国について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・第2学期期末考査 ・小テスト ・課題レポートの記述内容 	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・第2学期期末考査 ・小テスト ・課題レポートの記述内容 	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・課題レポートの記述内容 ・授業ノート、問題集などの記述内容 	

単元	第2部 現代世界の地誌的考察 第2章 現代世界の諸地域 8節 ロシア	
評価期間	10月	
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・いくつかの地域に区分した現代世界の諸地域をもとに、諸地域にみられる地域的特色や地球的課題などについて理解している。また、いくつかの地域に区分した現代世界の諸地域をもとに、地域の結びつき、構造や変容などを地誌的に考察する方法などについても理解している。 ・現代世界の諸地域について、地域の結びつき、構造や変容などに着目して、主題を設定し、地域的特色や地球的課題などを多面的・多角的に考察し、表現している。 ・現代世界の諸地域について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。 	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・かつて社会主義国だったが、1990年代に国家体制が変化し、現在は新しい国づくりを進めているロシアについて、農業や工業を国家体制の変化に関連づけて理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・かつて社会主義国だったが、1990年代に国家体制が変化し、現在は新しい国づくりを進めているロシアについて、農業や工業を国家体制の変化に関連づけて、多面的・多角的に考察し、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ロシアについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・第2学期期末考査 ・小テスト ・課題レポートの記述内容 	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・第2学期期末考査 ・小テスト ・課題レポートの記述内容 	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・課題レポートの記述内容 ・授業ノート、問題集などの記述内容 	

単元	第2部 現代世界の地誌的考察 第2章 現代世界の諸地域 9節 アメリカ合衆国	
評価期間	11月	
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・いくつかの地域に区分した現代世界の諸地域をもとに、諸地域にみられる地域的特色や地球的課題などについて理解している。また、いくつかの地域に区分した現代世界の諸地域をもとに、地域の結びつき、構造や変容などを地誌的に考察する方法などについても理解している。 ・現代世界の諸地域について、地域の結びつき、構造や変容などに着目して、主題を設定し、地域的特色や地球的課題などを多面的・多角的に考察し、表現している。 ・現代世界の諸地域について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。 	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・移民国家としての多様性を持ち、世界有数の農業国であり、先端技術産業でも世界をリードしているアメリカ合衆国について、地域を構成するさまざまな事象を項目ごとに整理して理解している。	・移民国家としての多様性を持ち、世界有数の農業国であり、先端技術産業でも世界をリードしているアメリカ合衆国について、地域を構成するさまざまな事象を項目ごとに整理して、多面的・多角的に考察し、表現している。	・アメリカ合衆国について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・第2学期期末考査 ・小テスト ・課題レポートの記述内容 	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・第2学期期末考査 ・小テスト ・課題レポートの記述内容 	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・課題レポートの記述内容 ・授業ノート、問題集などの記述内容 	

<p style="text-align: center;">単 元</p>	<p>第2部 現代世界の地誌的考察 第2章 現代世界の諸地域 10節 ラテンアメリカ</p>	
<p style="text-align: center;">評価期間</p>	<p>11月</p>	
<p style="text-align: center;">単元の目標</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・いくつかの地域に区分した現代世界の諸地域をもとに、諸地域にみられる地域的特色や地球的課題などについて理解している。また、いくつかの地域に区分した現代世界の諸地域をもとに、地域の結びつき、構造や変容などを地誌的に考察する方法などについても理解している。 ・現代世界の諸地域について、地域の結びつき、構造や変容などに着目して、主題を設定し、地域的特色や地球的課題などを多面的・多角的に考察し、表現している。 ・現代世界の諸地域について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。 	
<p style="text-align: center;">知識・技能</p>	<p style="text-align: center;">思考・判断・表現</p>	<p style="text-align: center;">主体的に学習に取り組む態度</p>
<p>・かつてヨーロッパ諸国の植民地であった歴史的背景があり、それが人々の生活や現在の産業にも深く関わっているラテンアメリカについて、文化や農業・工業をヨーロッパの影響と関連づけて理解している。</p>	<p>・かつてヨーロッパ諸国の植民地であった歴史的背景があり、それが人々の生活や現在の産業にも深く関わっているラテンアメリカについて、文化や農業・工業をヨーロッパの影響と関連づけて、多面的・多角的に考察し、表現している。</p>	<p>・ラテンアメリカについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。</p>
<p style="text-align: center;">観 点</p>	<p style="text-align: center;">評 価 内 容</p>	
<p style="text-align: center;">知識・技能</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・第2学期期末考査 ・小テスト ・課題レポートの記述内容 	
<p style="text-align: center;">思考・判断・表現</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・第2学期期末考査 ・小テスト ・課題レポートの記述内容 	
<p style="text-align: center;">主体的に学習に取り組む態度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・課題レポートの記述内容 ・授業ノート、問題集などの記述内容 	

単元	第2部 現代世界の地誌的考察 第2章 現代世界の諸地域 11節 オーストラリアとニュージーランド	
評価期間	11月	
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・いくつかの地域に区分した現代世界の諸地域をもとに、諸地域にみられる地域的特色や地球的課題などについて理解している。また、いくつかの地域に区分した現代世界の諸地域をもとに、地域の結びつき、構造や変容などを地誌的に考察する方法などについても理解している。 ・現代世界の諸地域について、地域の結びつき、構造や変容などに着目して、主題を設定し、地域的特色や地球的課題などを多面的・多角的に考察し、表現している。 ・現代世界の諸地域について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。 	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・南半球にある地理的位置や移民の国という共通点があるが、自然環境や産業で違いもみられるオーストラリアとニュージーランドについて、二つの国を比較し、類似する一般性や地域の特殊性を理解している。	・南半球にある地理的位置や移民の国という共通点があるが、自然環境や産業で違いもみられるオーストラリアとニュージーランドについて、二つの国を比較し、類似する一般性や地域の特殊性を、多面的・多角的に考察し、表現している。	・オーストラリアとニュージーランドについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・第2学期期末考査 ・小テスト ・課題レポートの記述内容 	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・第2学期期末考査 ・小テスト ・課題レポートの記述内容 	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・課題レポートの記述内容 ・授業ノート、問題集などの記述内容 	

令和6年度 3学期 地理歴史科【地理探究】 評価規準

<p>単元</p>	<p>第3部 現代世界におけるこれからの日本の国土像 第1章 持続可能な国土像の探究 1節 将来の国土の在り方</p>	
<p>評価期間</p>	<p>1月</p>	
<p>単元の目標</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現代世界におけるこれからの日本の国土像の探究をもとに、我が国が抱える地理的な諸課題の解決の方向性や将来の国土の在り方などを構想することの重要性や、探究する手法などについて理解している。 ・ 現代世界におけるこれからの日本の国土像について、地域の結びつき、構造や変容、持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、我が国が抱える地理的な諸課題の解決の方向性や将来の国土の在り方などを多面的・多角的に探究し、表現している。 ・ 持続可能な国土像の探究について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に探究しようとしている。 	
<p>知識・技能</p>	<p>思考・判断・表現</p>	<p>主体的に学習に取り組む態度</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本の強みをより生かせる将来について考え、持続可能な社会を構築していくには、どのようなことに取り組みればよいかについて理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本の強みをより生かせる将来について考え、持続可能な社会を構築していくには、どのようなことに取り組みればよいかについて、多面的・多角的に探究し、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 将来の国土の在り方について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に探究しようとしている。
<p>観 点</p>	<p>評 価 内 容</p>	
<p>知識・技能</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第2学期期末考査 ・ 小テスト ・ 課題レポートの記述内容 	
<p>思考・判断・表現</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第2学期期末考査 ・ 小テスト ・ 課題レポートの記述内容 	
<p>主体的に学習に取り組む態度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 課題レポートの記述内容 ・ 授業ノート、問題集などの記述内容 	

<p>単元</p>	<p>第3部 現代世界におけるこれからの日本の国土像 第1章 持続可能な国土像の探究 2節 持続可能な日本の国土像の探究</p>	
<p>評価期間</p>	<p>1月</p>	
<p>単元の目標</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現代世界におけるこれからの日本の国土像の探究をもとに、我が国が抱える地理的な諸課題の解決の方向性や将来の国土の在り方などを構想することの重要性や、探究する手法などについて理解している。 ・ 現代世界におけるこれからの日本の国土像について、地域の結びつき、構造や変容、持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、我が国が抱える地理的な諸課題の解決の方向性や将来の国土の在り方などを多面的・多角的に探究し、表現している。 ・ 持続可能な国土像の探究について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に探究しようとしている。 	
<p>知識・技能</p>	<p>思考・判断・表現</p>	<p>主体的に学習に取り組む態度</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 現代の日本の社会が抱える地理的な諸課題を解決し、持続可能な社会を目指すためには、どのような国土の在り方が望ましいかについて理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現代の日本の社会が抱える地理的な諸課題を解決し、持続可能な社会を目指すためには、どのような国土の在り方が望ましいかについて、多面的・多角的に探究し、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 持続可能な日本の国土像の探究について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に探究しようとしている。
<p>観 点</p>	<p>評 価 内 容</p>	
<p>知識・技能</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第2学期期末考査 ・ 小テスト ・ 課題レポートの記述内容 	
<p>思考・判断・表現</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第2学期期末考査 ・ 小テスト ・ 課題レポートの記述内容 	
<p>主体的に学習に取り組む態度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 課題レポートの記述内容 ・ 授業ノート、問題集などの記述内容 	

地理歴史科【日本史探究】 評価規準

愛媛県立今治西高等学校 地理歴史・公民科

教科	地理歴史	科目	日本史探究		
単位数	4	学年	3	類型	I・II類型
教科書	詳説日本史（山川出版社）				
科目目標	<p>社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 2 我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 3 我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。 				

令和6年度 1学期 地理歴史科【日本史探究】 評価規準

単元	第Ⅲ部 近世 第9章 幕藩体制の成立と展開 第10章 幕藩体制の動揺
評価期間	1学期 4月～5月
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・法や制度による支配秩序の形成と身分制、貿易の統制と対外関係、技術の向上と開発の進展、学問・文化の発展、産業の発達、飢饉や一揆の発生、幕府政治の動揺と諸藩の動向、学問・思想の展開、庶民の生活と文化などを基に、幕藩体制の確立、近世の社会と文化の特色、幕藩体制の変容、近世の庶民の生活と文化の特色、近代化の基盤の形成を理解する。 ・織豊政権との類似と相違、アジアの国際情勢の変化、交通・流通の発達、都市の発達と文化の担い手との関係、社会・経済の仕組みの変化、幕府や諸藩の政策の変化、国際情勢の変化と影響、政治・経済と文化との関係などに着目して、主題を設定し、近世の国家・社会の展開・変容について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現する。 ・近世の日本と世界について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとする態度を養う。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・幕藩体制の確立・変容、近世の社会と庶民の生活と文化の特色、近代化の基盤の形成を理解している。	・近世の国家・社会の展開・変容について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。	・近世の日本と世界について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・第1学期中間考査 ・提出課題の記述内容 	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・第1学期中間考査 ・提出課題の記述内容 	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・提出課題の記述内容 ・「振り返りシート」の記述内容 	

単 元	第IV部 近代・現代 第11章 近世から近代へ 第12章 近代国家の成立	
評価期間	1学期 6月～7月	
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 対外政策の変容と開国、幕藩体制の崩壊と新政権の成立、明治維新、自由民権運動、大日本帝国憲法の制定、条約改正、日清・日露戦争、第一次世界大戦、社会運動の動向、政党政治などを基に、近世から近代への時代の転換、立憲体制への移行、国民国家の形成、アジアや欧米諸国との関係の変容を理解する。 ・ 欧米諸国の進出によるアジア諸国の変化、政治・経済の変化と思想への影響などに着目して、近世から近代の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察し、表現する。時代の転換に着目して、近代の特色について多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現する。 ・ 近現代の日本と世界について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとする態度を養う。 	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・対外政策の変容と開国、幕藩体制の崩壊と新政権の成立、明治維新、自由民権運動、大日本帝国憲法の制定、条約改正、日清・日露戦争、第一次世界大戦、社会運動の動向、政党政治などを基に、近世から近代への時代の転換、立憲体制への移行、国民国家の形成、アジアや欧米諸国との関係の変容を理解している。	<ul style="list-style-type: none"> ・近世から近代の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察し、表現している。 ・時代の転換に着目して、近代の特色について多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現している。 	・近現代の日本と世界について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとしている。

観 点	評 価 内 容
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・第1学期期末考査 ・提出課題の記述内容
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・第1学期期末考査 ・提出課題の記述内容
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・提出課題の記述内容 ・「振り返りシート」の記述内容

令和6年度 2学期 地理歴史科【日本史探究】 評価規準

単 元	第IV部 近代・現代 第13章 近代国家の展開 第14章 近代の産業と生活	
評価期間	2学期 8月～9月	
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・条約改正、日清・日露戦争、第一次世界大戦、社会運動の動向、政党政治、立憲体制への移行、国民国家の形成、アジアや欧米諸国との関係の変容、文明開化の風潮、産業革命の展開、交通の整備と産業構造の変容、学問の発展や教育制度の拡充、社会問題の発生などを基に、産業の発展の経緯と近代の文化の特色、大衆社会の形成を理解する。 ・アジアや欧米諸国との関係、地域社会の変化、戦争が及ぼした影響、欧米の思想・文化の影響、産業の発達の背景と影響、地域社会における労働や生活の変化、教育の普及とその影響などに着目して、主題を設定し、近代の政治の展開と国際的地位の確立、第一次世界大戦前後の対外政策や国内経済、国民の政治参加の拡大、日本の工業化の進展、近代の文化の形成について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現する。 ・近現代の日本と世界について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとする態度を養う。 	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・日清・日露戦争、第一次世界大戦、政党政治、立憲体制への移行、国民国家の形成、アジアや欧米諸国との関係の変容、産業革命の展開などを基に、産業の発展の経緯と近代の文化の特色、大衆社会の形成を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・近代の政治の展開と国際的地位の確立、第一次世界大戦前後の対外政策や国内経済、国民の政治参加の拡大、日本の工業化の進展、近代の文化の形成について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・近現代の日本と世界について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとしている。

観 点	評 価 内 容
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・第2学期中間考査 ・提出課題の記述内容
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・第2学期中間考査 ・提出課題の記述内容
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・提出課題の記述内容 ・「振り返りシート」の記述内容

単 元	第Ⅳ部 近代・現代 第15章 恐慌と第二次世界大戦	
評価期間	2学期 10月	
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・恐慌と国際関係、軍部の台頭と対外政策、戦時体制の強化と第二次世界大戦の展開などを基に、第二次世界大戦に至る過程及び大戦中の政治・社会、国民生活の変容を理解する。 ・国際社会やアジア近隣諸国との関係、政治・経済体制の変化、戦争の推移と国民生活への影響などに着目して、主題を設定し、第二次世界大戦と日本の動向の関わりについて、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現する。 ・近現代の日本と世界について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとする態度を養う。 	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・恐慌と国際関係、軍部の台頭と対外政策、戦時体制の強化と第二次世界大戦の展開などを基に、第二次世界大戦に至る過程及び大戦中の政治・社会、国民生活の変容を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・第二次世界大戦と日本の動向の関わりについて、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・近現代の日本と世界について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・第2学期中間考査 ・提出課題の記述内容 	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・第2学期中間考査 ・提出課題の記述内容 	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・提出課題の記述内容 ・「振り返りシート」の記述内容 	

単元	第IV部 近代・現代 第16章 占領下の日本 第17章 高度成長の時代
評価期間	2学期 11月～12月
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 占領政策と諸改革、日本国憲法の成立、平和条約と独立の回復、戦後の経済復興、アジア諸国との関係、高度経済成長などを基に、我が国の再出発及びその後の政治・経済や対外関係、現代の政治や社会の枠組み、国民生活の変容を理解する。 ・ 第二次世界大戦前後の政治や社会の類似と相違、冷戦の影響、グローバル化の進展の影響、国民の生活や地域社会の変化などに着目して、主題を設定し、戦前と戦後の国家・社会の変容、戦後政治の展開、日本経済の発展、第二次世界大戦後の国際社会における我が国の役割について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現する。 ・ 近現代の日本と世界について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとする態度を養う。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・ 占領政策と諸改革、日本国憲法の成立、平和条約と独立の回復、戦後の経済復興、アジア諸国との関係、高度経済成長などを基に、我が国の再出発及びその後の政治・経済や対外関係、現代の政治や社会の枠組み、国民生活の変容を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 戦前と戦後の国家・社会の変容、戦後政治の展開、日本経済の発展、第二次世界大戦後の国際社会における我が国の役割について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 近現代の日本と世界について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第2学期期末考査 ・ 提出課題の記述内容 	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第2学期期末考査 ・ 提出課題の記述内容 	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 提出課題の記述内容 ・ 「振り返りシート」の記述内容 	

令和6年度 3学期 地理歴史科【日本史探究】 評価規準

単元	第IV部 近代・現代 第18章 激動する世界と日本
評価期間	3学期 1月～2月
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高度経済成長、社会・経済・情報の国際化などを基に、現代の政治や社会の枠組み、国民生活の変容を理解する。 ・ グローバル化の進展の影響、国民の生活や地域社会の変化などに着目して、主題を設定し、日本経済の発展、第二次世界大戦後の国際社会における我が国の役割について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現する。 ・ 近現代の日本と世界について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとする態度を養う。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・高度経済成長、社会・経済・情報の国際化などを基に、現代の政治や社会の枠組み、国民生活の変容を理解している。	・日本経済の発展、第二次世界大戦後の国際社会における我が国の役割について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。	・近現代の日本と世界について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・第2学期期末考査 ・提出課題の記述内容 	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・第2学期期末考査 ・提出課題の記述内容 	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・提出課題の記述内容 ・「振り返りシート」の記述内容 	

地理歴史科【世界史探究】 評価規準

愛媛県立今治西高等学校 地理歴史・公民科

教 科	地理歴史	科 目	世界史探究		
単 位 数	4	学 年	3	類 型	I・II類型
教 科 書	詳説世界史（山川出版社）				
科目目標	<p>社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。</p> <p>1 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解しているとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>2 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p> <p>3 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p>				

令和6年度 1学期 地理歴史科【世界史探究】 評価規準

単元	第Ⅱ部 諸地域の交流・再編 第9章 大交易・大交流時代 第10章 アジアの諸帝国の繁栄	
評価期間	1学期 4月～5月	
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・西アジアや南アジアの諸帝国、清と日本・朝鮮などの動向を基に、アジア諸地域の特質を構造的に理解する。 ・アジア諸地域の動向に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、諸帝国の統治の特徴、アジア諸地域の経済と社会や文化の特色、日本の対外関係の特徴などを多面的・多角的に考察し、表現する。 ・諸地域の交流と再編について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとする。 	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・西アジアや南アジアの諸帝国、清と日本・朝鮮などの動向を基に、アジア諸地域の特質を構造的に理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アジア諸地域の動向に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりに着目し、諸帝国の統治の特徴、アジア諸地域の経済と社会や文化の特色、日本の対外関係の特徴などを多面的・多角的に考察し、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・諸地域の交流と再編について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・第1学期中間考査 ・提出課題の記述内容 	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・第1学期中間考査 ・提出課題の記述内容 	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・提出課題の記述内容 ・「振り返りシート」の記述内容 	

単元	第Ⅱ部 諸地域の交流・再編 第11章 近世ヨーロッパ世界の動向	
評価期間	1学期 6月～7月	
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・宗教改革とヨーロッパ諸国の抗争、大西洋三角貿易の展開、科学革命と啓蒙思想などを基に、主権国家体制の形成と地球規模での交易の拡大を構造的に理解する。 ・ヨーロッパ諸地域の動向に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、宗教改革の意義、大西洋両岸諸地域の経済的連関の特徴、主権国家の特徴と経済活動との関連、ヨーロッパの社会や文化の特色などを多面的・多角的に考察し、表現する。 ・諸地域の交流と再編について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとする。 	

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・宗教改革とヨーロッパ諸国の抗争、大西洋三角貿易の展開、科学革命と啓蒙思想などを基に、主権国家体制の形成と地球規模での交易の拡大を構造的に理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ヨーロッパ諸地域の動向に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、宗教改革の意義、大西洋両岸諸地域の経済的連関の特徴、主権国家の特徴と経済活動との関連、ヨーロッパの社会や文化の特色などを多面的・多角的に考察し、表現する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・諸地域の交流と再編について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・第1学期期末考査 ・提出課題の記述内容 	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・第1学期期末考査 ・提出課題の記述内容 	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・提出課題の記述内容 ・「振り返りシート」の記述内容 	

令和6年度 2学期 地理歴史科【世界史探究】 評価規準

単 元	第三部 諸地域の結合・変容 第12章 産業革命と環大西洋革命 第13章 イギリスの優位と欧米国民国家の形成 第14章 アジア諸地域の動揺
評価期間	2学期 8月～9月
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・産業革命と環大西洋革命、自由主義とナショナリズム、南北戦争の展開、国際的な分業体制と労働力の移動、イギリスを中心とした自由貿易体制、アジア諸国の植民地化と諸改革などを基に、国民国家と近代民主主義社会の形成、世界市場の形成とアジア諸国の変容を構造的に理解する。 ・大西洋両岸諸地域の動向に関わる諸事象、世界市場の形成とアジア諸国の動向に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、産業革命や環大西洋革命の意味や意義、自由主義とナショナリズムの特徴、南北アメリカ大陸の変容、労働力の移動を促す要因、イギリスの覇権の特徴、アジア諸国の変容の地域的な特徴などを多面的・多角的に考察し、表現する。 ・諸地域の結合と変容について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとする。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・ 国民国家と近代民主主義社会の形成、世界市場の形成とアジア諸国の変容を構造的に理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 産業革命や環大西洋革命の意味や意義、自由主義とナショナリズムの特徴、南北アメリカ大陸の変容、労働力の移動を促す要因、イギリスの覇権の特徴、アジア諸国の変容の地域的な特徴などを多面的・多角的に考察し、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 諸地域の結合と変容について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第2学期中間考査 ・ 提出課題の記述内容 	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第2学期中間考査 ・ 提出課題の記述内容 	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 提出課題の記述内容 ・ 「振り返りシート」の記述内容 	

単 元	第三部 諸地域の結合・変容 第15章 帝国主義とアジアの民族運動 第16章 第一次世界大戦と世界の変容
評価期間	2学期 10月
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第二次産業革命と帝国主義諸国の抗争、アジア諸国の変革、第一次世界大戦とロシア革命、ヴェルサイユ・ワシントン体制の形成、アメリカ合衆国の台頭、アジア・アフリカの動向とナショナリズムなどを基に、世界分割の進展とナショナリズムの高まり、第一次世界大戦の展開と諸地域の変容を構造的に理解する。 ・ 列強の対外進出とアジア・アフリカの動向に関わる諸事象、第一次世界大戦と大戦後の諸地域の動向に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、世界経済の構造的な変化、列強の帝国主義政策の共通点と相違点、アジア諸国のナショナリズムの特徴、第一次世界大戦後の国際協調主義の性格、アメリカ合衆国の台頭の要因、アジア・アフリカのナショナリズムの性格などを多面的・多角的に考察し、表現する。 ・ 諸地域の結合と変容について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとする。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 世界分割の進展とナショナリズムの高まり、第一次世界大戦の展開と諸地域の変容を構造的に理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 世界経済の構造的な変化、列強の帝国主義政策の共通点と相違点、アジア諸国のナショナリズムの特徴、第一次世界大戦後の国際協調主義の性格、アメリカ合衆国の台頭の要因、アジア・アフリカのナショナリズムの性格などを多面的・多角的に考察し、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 諸地域の結合と変容について、多面的・多角的に考察し、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 第2学期中間考査 提出課題の記述内容 	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 第2学期中間考査 提出課題の記述内容 	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 提出課題の記述内容 「振り返りシート」の記述内容 	

単 元	第Ⅲ部 諸地域の結合・変容 第17章 第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成
評価期間	2学期 11月～12月
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> 世界恐慌とファシズムの動向、ヴェルサイユ・ワシントン体制の動揺、第二次世界大戦の展開と大戦後の国際秩序、冷戦とアジア諸国の独立の始まりなどを基に、第二次世界大戦の展開と諸地域の変容を構造的に理解する。 世界恐慌と国際協調体制の動揺に関わる諸事象、第二次世界大戦と大戦後の諸地域の動向に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、世界恐慌に対する諸国家の対応策の共通点と相違点、ファシズムの特徴、第二次世界大戦に向かう国際関係の変化の要因、第二次世界大戦中の連合国による戦後構想と大戦後の国際秩序との関連、アジア諸国の独立の地域的な特徴などを多面的・多角的に考察し、表現する。 諸地域の結合と変容について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとする。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 世界恐慌とファシズムの動向、ヴェルサイユ・ワシントン体制の動揺、第二次世界大戦の展開と大戦後の国際秩序、冷戦とアジア諸国の独立の始まりなどを基に、第二次世界大戦の展開と諸地域の変容を構造的に理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 世界恐慌に対する諸国家の対応策の共通点と相違点、ファシズムの特徴、第二次世界大戦に向かう国際関係の変化の要因、第二次世界大戦中の連合国による戦後構想と大戦後の国際秩序との関連、アジア諸国の独立の地域的な特徴などを多面的・多角的に考察し、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 諸地域の結合と変容について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 第2学期期末考査 提出課題の記述内容 	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 第2学期期末考査 提出課題の記述内容 	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 提出課題の記述内容 「振り返りシート」の記述内容 	

令和6年度 3学期 地理歴史科【世界史探究】 評価規準

単 元	第IV部 地球世界の課題 第18章 冷戦と第三世界の台頭 第19章 冷戦の終結と今日の世界
評価期間	3学期 1月～2月
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> 集団安全保障と冷戦の展開、アメリカ合衆国の覇権の動揺、原子力の利用や宇宙探査などの科学技術などを基に、紛争解決の取組と課題、格差是正の取組と課題、知識基盤社会の展開と課題を理解する。 国際平和機構の形成と紛争に関わる諸事象、国際競争の展開と経済格差に関わる諸事象の歴史的背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、国際連盟と国際連合との共通点と相違点、冷戦下の紛争解決と冷戦後の紛争解決との共通点と相違点、経済格差と政治や社会の変化との関連性などを多面的・多角的に考察し、表現する。 地球世界の課題について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとする態度を養う。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 紛争解決の取組と課題、格差是正の取組と課題、知識基盤社会の展開と課題を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 国際連盟と国際連合との共通点と相違点、冷戦下の紛争解決と冷戦後の紛争解決との共通点と相違点、経済格差と政治や社会の変化との関連性などを多面的・多角的に考察し、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 地球世界の課題について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 第2学期期末考査 提出課題の記述内容 	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 第2学期期末考査 提出課題の記述内容 	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 提出課題の記述内容 「振り返りシート」の記述内容 	

公民科【政治・経済】 評価規準

愛媛県立今治西高等学校 地理歴史・公民科

教科	公民	科目	政治・経済		
単位数	3	学年	3	類型	I・II類型
教科書	高等学校 政治・経済（第一学習社）				
科目目標	<p>社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決に向けて構想したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 2 国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身に付けた判断基準を根拠に構想する力や、構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して、合意形成や社会参画に向かう力を養う。 3 よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、我が国及び国際社会において国家及び社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深める。 				

令和6年度 1学期 公民科【政治・経済】 評価規準

単元	第1編 現代日本の政治・経済の諸課題 第1章 現代日本の政治・経済 第1節 日本国憲法と現代政治の在り方 第2節 望ましい政治の在り方と主権者としての政治参加の在り方
評価時期	1学期 4月～5月
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・政治と法の意義と機能、基本的人権の保障と法の支配、権利と義務との関係、議会制民主主義、地方自治について、現実社会の諸事象を通して理解する。 ・民主政治の本質を基に日本国憲法と現代政治の在り方との関連についてや、政党政治や選挙などの観点から望ましい政治の在り方及び主権者としての政治参加の在り方について多面的・多角的に考察、構想し、表現する。 ・「日本国憲法と現代政治の在り方」について、よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとする。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 政治と法の意義と機能、基本的人権の保障と法の支配、権利と義務との関係、議会制民主主義、地方自治について、現実社会の諸事象を通して理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 民主政治の本質を基に日本国憲法と現代政治の在り方との関連についてや、政党政治や選挙などの観点から望ましい政治の在り方及び主権者としての政治参加の在り方について、多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 「日本国憲法と現代政治の在り方」について、よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 第1学期中間考査 提出課題の記述内容 	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 第1学期中間考査 提出課題の記述内容 	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 提出課題の記述内容 「振り返りシート」の記述内容 	

単 元	第1編 現代日本の政治・経済の諸課題 第1章 現代日本の政治・経済 第3節 市場経済の機能と限界 第4節 持続可能な財政および租税の在り方 第5節 金融を通じた経済活動の活性化	
評価時期	1学期 6月～7月	
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> 経済活動と市場、経済主体と経済循環、国民経済の大きさと経済成長、物価と景気変動、財政の働きと仕組み及び租税などの意義、金融の働きと仕組みについて現実社会の諸事象を通して理解する。 市場経済の機能と限界、持続可能な財政及び租税の在り方、金融を通じた経済活動の活性化について、多面的・多角的に考察、構想し、表現する。 「市場経済の機能と限界」について、よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとする。 	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 経済活動と市場、経済主体と経済循環、国民経済の大きさと経済成長、物価と景気変動財政の働きと仕組み及び租税などの意義、金融の働きと仕組みについて、現実社会の諸事象を通して理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 市場経済の機能と限界、持続可能な財政及び租税の在り方金融を通じた経済活動の活性化について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 「市場経済の機能と限界」について、よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。

観 点	評 価 内 容
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・第1学期末考査 ・提出課題の記述内容
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・第1学期末考査 ・提出課題の記述内容
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・提出課題の記述内容 ・「振り返りシート」の記述内容

令和6年度 2学期 公民科【政治・経済】 評価規準

単 元	第1編 現代日本の政治・経済の諸課題 第1章 現代日本の政治・経済 第6節 経済活動と福祉の向上 第2章 現代日本の諸課題の探究	
評価時期	2学期 8月～9月	
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・現代日本の政治・経済に関する諸資料から、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取る技能を身に付ける。 ・社会的な見方・考え方を総合的に働かせ、他者と協働して持続可能な社会の形成が求められる現代日本社会の諸課題を探究する活動を通して、取り上げた課題の解決に向けて政治と経済とを関連させて多面的・多角的に考察、構想し、よりよい社会の在り方についての自分の考えを説明、論述する。 ・「経済活動と福祉の向上」や取り上げた課題について、よりよい社会の実現を視野に現代社会の諸課題を主体的に解決し、合意形成や社会参画に向かおうとする。 	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・現代日本の政治経済に関する諸資料から、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取る技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会的な見方・考え方を総合的に働かせ、他者と協働して持続可能な社会の形成が求められる現代日本社会の諸課題を探究する活動を通して、取り上げた課題の解決に向けて政治と経済とを関連させて多面的・多角的に考察、構想し、よりよい社会の在り方についての自分の考えを説明、論述している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「経済活動と福祉の向上」や取り上げた課題について、よりよい社会の実現を視野に現代社会の諸課題を主体的に解決し、合意形成や社会参画に向かおうとしている
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・第2学期中間考査 ・提出課題の記述内容 	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・第2学期中間考査 ・提出課題の記述内容 	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・提出課題の記述内容 ・「振り返りシート」の記述内容 	

単元	第2編 グローバル化する国際社会の諸課題 第1章 現代の国際政治・経済	
評価時期	2学期 10月～12月	
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・国際社会の変遷、人権、国家主権、領土（領海、領空を含む。）などに関する国際法の意義、国際連合をはじめとする国際機構の役割、我が国の安全保障と防衛国際貢献、貿易の現状と意義、為替相場の変動、国民経済と国際収支、国際協調の必要性や国際経済機関の役割について、現実社会の諸事象を通して理解する。 ・国際平和と人類の福祉に寄与する日本の役割や相互依存関係が深まる国際経済の特質や国際経済において果たすことが求められる日本の役割について、多面的・多角的に考察、構想し、表現する。 ・「国際平和と人類の福祉に寄与する日本の役割」について、よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとする。 	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・国際社会の変遷、人権、国家主権、領土（領海、領空を含む。）などに関する国際法の意義、国際連合をはじめとする国際機構の役割、我が国の安全保障と防衛、国際貢献、貿易の現状と意義、為替相場の変動、国民経済と国際収支、国際協調の必要性や国際経済機関の役割について、現実社会の諸事象を通して理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・国際平和と人類の福祉に寄与する日本の役割や相互依存関係が深まる国際経済の特質や国際経済において果たすことが求められる日本の役割について、多面的・多角的に考察構想し、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「国際平和と人類の福祉に寄与する日本の役割」について、よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・第2学期末考査 ・提出課題の記述内容 	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・第2学期末考査 ・提出課題の記述内容 	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・提出課題の記述内容 ・「振り返りシート」の記述内容 	

令和6年度 3学期 公民科【政治・経済】 評価規準

単元	第2編 グローバル化する国際社会の諸課題 第2章 国際社会の諸課題の探究	
評価時期	3学期 1月～2月	
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国際社会の政治・経済に関する諸資料から、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取る技能を身に付ける。 ・ 社会的な見方・考え方を総合的に働かせ、他者と協働して持続可能な社会の形成が求められる国際社会の諸課題を探求する活動を通して、取り上げた課題の解決に向けて政治と経済とを関連させて多面的・多角的に考察、構想し、よりよい社会のあり方についての自分の考えを説明、論述する。 ・ 取り上げた課題について、よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決し、合意形成や社会参画に向かおうとする。 	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・ 国際社会の政治・経済に関する諸資料から、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取る技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会的な見方・考え方を総合的に働かせ、他者と協働して持続可能な社会の形成が求められる国際社会の諸課題を探求する活動を通して、取り上げた課題の解決に向けて政治と経済とを関連させて多面的多角的に考察、構想し、よりよい社会のあり方についての自分の考えを説明、論述している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 取り上げた課題について、よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決し、合意形成や社会参画に向かおうとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 提出課題の記述内容 	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・ 提出課題の記述内容 	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 提出課題の記述内容 ・ 「振り返りシート」の記述内容 	

数学科【数学Ⅲ】 評価規準

愛媛県立今治西高等学校 数学科

教 科	数 学	科 目	数学Ⅲ		
単 位 数	3	学 年	3	類 型	Ⅲ 類 型
教 科 書	数学Ⅲ（数研出版）				
科目目標	<p>数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 極限、微分法及び積分法についての概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。 2 数列や関数の値の変化に着目し、極限について考察したり、関数関係をより深く捉えて事象を的確に表現し、数学的に考察したりする力、いろいろな関数の局所的な性質や大域的な性質に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。 3 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。 				

令和6年度 1学期 数学科【数学Ⅲ】 評価規準

単 元	第1章 関数	
評価期間	1学期 4月	
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・関数についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、関数を用いて事象を数学化したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。（知識・技能） ・関数を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、関数を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付ける。（思考・判断・表現） ・粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとする態度を身に付ける。（主体的） 	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・簡単な分数関数と無理関数の値の変化やグラフの特徴について理解できる。 ・合成関数や逆関数の意味を理解し、簡単な場合についてそれらを求めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・式を多面的に捉えたり、目的に応じて適切に変形したりできる。 ・既に学習した関数の性質と関連付けて、簡単な分数関数と無理関数のグラフの特徴を多面的に考察できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・数学のよさを認識し数学を活用しようとしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしている。

観 点	評 価 内 容
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・第1学期期末考査 ・週末課題の記述内容 ・単元小テスト
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・第1学期期末考査 ・「深める」レポートの記述内容 ・週末課題の記述内容
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・教師による行動観察 ・「深める」レポートの取り組み方 ・週末課題の取り組み方

単 元	第2章 極限	
評価期間	1学期 4～5月	
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・極限についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、極限を用いて事象を数学化したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。(知識・技能) ・極限を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、極限を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付ける。(思考・判断・表現) ・粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとする態度を身に付ける。(主体的) 	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・数列の極限や無限級数の収束、発散について理解し、簡単な数列の極限や簡単な無限級数の和を求めることができる。 ・関数の値の極限について理解することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・数列や関数の値の極限に着目し、事象を数学的に捉え、コンピュータなどの情報機器を用いて極限を調べるなどして、問題を解決することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・数学のよさを認識し数学を活用しようとしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・第1学期期末考査 ・週末課題の記述内容 ・単元小テスト 	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・第1学期期末考査 ・「深める」レポートの記述内容 ・週末課題の記述内容 	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・教師による行動観察 ・「深める」レポートの取り組み方 ・週末課題の取り組み方 	

単元	第3章 微分法	
評価期間	1学期 5～6月	
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・微分法についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、微分法を用いて事象を数学化したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。(知識・技能) ・微分法を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、微分法を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付ける。(思考・判断・表現) ・粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとする態度を身に付ける。(主体的) 	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・微分可能性、関数の積及び商の導関数について理解し、関数の和、差、積及び商の導関数を求めることができる。 ・三角関数などの導関数について理解し、それらを求めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・導関数の定義に基づき、三角関数、指数関数及び対数関数の導関数を考察できる。 ・関数の連続性と微分可能性、関数とその導関数や第二次導関数の関係について考察できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・数学のよさを認識し数学を活用しようとしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・第1学期期末考査 ・週末課題の記述内容 ・単元小テスト 	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・第1学期期末考査 ・「深める」レポートの記述内容 ・週末課題の記述内容 	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・教師による行動観察 ・「深める」レポートの取り組み方 ・週末課題の取り組み方 	

単元	第4章 微分法の応用	
評価期間	1学期 6～7月	
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・微分法の応用についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、微分法の応用を用いて事象を数学化したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。(知識・技能) ・微分法の応用を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、微分法の応用を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付ける。(思考・判断・表現) ・粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとする態度を身に付ける。(主体的) 	

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 導関数を用いて、いろいろな曲線の接線の方程式を求めたり、いろいろな関数の値の増減、極大・極小、グラフの凹凸などを調べグラフの概形をかいたりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 関数の局所的な変化や大域的な変化に着目し、事象を数学的に捉え、問題を解決することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 数学のよさを認識し数学を活用しようとしている。 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしている。
観 点		評 価 内 容
知識・技能		<ul style="list-style-type: none"> 第1学期期末考査 週末課題の記述内容 単元小テスト
思考・判断・表現		<ul style="list-style-type: none"> 第1学期期末考査 「深める」レポートの記述内容 週末課題の記述内容
主体的に学習に取り組む態度		<ul style="list-style-type: none"> 教師による行動観察 「深める」レポートの取り組み方 週末課題の取り組み方

令和6年度 2学期 数学科【数学Ⅲ】 評価規準

単 元	第5章 積分法とその応用	
評価期間	2学期 7～9月	
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> 積分法とその応用についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、積分法とその応用を用いて事象を数学化したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。(知識・技能) 積分法とその応用を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、積分法とその応用を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付ける。(思考・判断・表現) 粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとする態度を身に付ける。(主体的) 	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 不定積分及び定積分の基本的な性質についての理解を深め、それらを用いて不定積分や定積分を求めることができる。 置換積分法及び部分積分法について理解できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 関数の式を多面的にみたり、目的に応じて適切に変形したりして、いろいろ関数の不定積分や定積分を求める方法について考察できる。 立体の体積などを求める方法について考察できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 数学のよさを認識し数学を活用しようとしている。 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしている。

観 点	評 価 内 容
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・第2学期中間考査 ・週末課題の記述内容 ・単元小テスト
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・第2学期中間考査 ・「深める」レポートの記述内容 ・週末課題の記述内容
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・教師による行動観察 ・「深める」レポートの取り組み方 ・週末課題の取り組み方

数学科【数学C】 評価規準

愛媛県立今治西高等学校 数学科

教 科	数 学	科 目	数学C		
単 位 数	2	学 年	3	類 型	I 類 型
教 科 書	数学C（数研出版）				
科目目標	<p>数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 ベクトル、平面上の曲線と複素数平面についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学的な表現の工夫について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。 2 大きさと向きをもった量に着目し、演算法則やその図形的な意味を考察する力、図形や図形の構造に着目し、それらの性質を統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。 3 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。 				

令和6年度 1学期 数学科【数学C】 評価規準

単 元	第1章 平面上のベクトル
評価期間	1学期 4～5月
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・平面上のベクトルについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、平面上のベクトルを用いて事象を数学化したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。（知識・技能） ・平面上のベクトルを活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、平面上のベクトルを用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付ける。（思考・判断・表現） ・粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとする態度を身に付ける。（主体的）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 平面上のベクトルの意味、相等、和、差、実数倍、位置ベクトル、ベクトルの成分表示について理解できる。ベクトルの内積及びその基本的な性質について理解できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 実数などの演算の法則と関連付けて、ベクトルの演算法則を考察できる。ベクトルの性質などを用いて、平面図形の性質を見いだしたり、多面的に考察したりできる。 	<ul style="list-style-type: none"> 数学のよさを認識し数学を活用しようとしている。 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしている。
観 点		評 価 内 容
知識・技能		<ul style="list-style-type: none"> 1学期中間考査 週末課題の記述内容 単元小テスト
思考・判断・表現		<ul style="list-style-type: none"> 1学期中間考査 「深める」レポートの記述内容 週末課題の記述内容
主体的に学習に取り組む態度		<ul style="list-style-type: none"> 教師による行動観察 「深める」レポートの取り組み方 週末課題の取り組み方

単 元	第2章 空間のベクトル	
評価期間	1学期 6～7月	
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> 空間のベクトルについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、空間ベクトルを用いて事象を数学化したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。(知識・技能) 空間のベクトルを活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、空間のベクトルを用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付ける。(思考・判断・表現) 粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとする態度を身に付ける。(主体的) 	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 座標及びベクトルの考えが平面から空間に拡張することが理解できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ベクトルの性質などを用いて、空間図形の性質を見いだしたり、多面的に考察したりできる。 	<ul style="list-style-type: none"> 数学のよさを認識し数学を活用しようとしている。 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしている。

観 点	評 価 内 容
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1 学期期末考査 ・ 週末課題の記述内容 ・ 単元小テスト
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1 学期期末考査 ・ 「深める」レポートの記述内容 ・ 週末課題の記述内容
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教師による行動観察 ・ 「深める」レポートの取り組み方 ・ 週末課題の取り組み方

数学科【数学C】 評価規準

愛媛県立今治西高等学校 数学科

教 科	数 学	科 目	数学C		
単 位 数	1	学 年	3	類 型	Ⅲ 類 型
教 科 書	数学C（数研出版）				
科目目標	<p>数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 ベクトル、平面上の曲線と複素数平面についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学的な表現の工夫について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。 2 大きさと向きをもった量に着目し、演算法則やその図形的な意味を考察する力、図形や図形の構造に着目し、それらの性質を統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。 3 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。 				

令和6年度 1学期 数学科【数学C】 評価規準

単 元	第4章 式と曲線
評価期間	1 学期 4～5月
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 二次曲線についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、二次曲線を用いて事象を数学化したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。(知識・技能) ・ 二次曲線を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、二次曲線を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付ける。(思考・判断・表現) ・ 粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとする態度を身に付ける。(主体的)

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・放物線、楕円、双曲線が二次式で表されること及びそれらの二次曲線の基本的な性質について理解できる。曲線の媒介変数表示及びド・モアブルの定理について理解できる。	・放物線、楕円、双曲線を相互に関連付けて捉え考察できる。複素数平面における図形の移動などに関連付けて、複素数の演算や累乗根などの意味を考察できる。	・数学のよさを認識し数学を活用しようとしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・期末考査 ・週末課題の記述内容 ・単元小テスト 	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・期末考査 ・「深める」レポートの記述内容 ・週末課題の記述内容 	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・教師による行動観察 ・「深める」レポートの取り組み方 ・週末課題の取り組み方 	

数学科【数学探究】 評価規準

愛媛県立今治高等学校 数学科

教 科	数 学	科 目	数学探究		
単 位 数	3	学 年	3	類 型	I 類 型
教 科 書	自作教材				
科目目標	<p>数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 高校数学についての基本的な概念や原理・法則を改めて体系的に理解するとともに、数学と社会生活との関わりについて認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。 2 離散的・連続的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に表現し考察する力、日常の事象や社会の事象を数学化し、問題を解決したり、解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を養う。 3 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。 				

令和6年度 2学期 数学科【数学探究】 評価規準

単元	数学Ⅰ・数学A	
評価期間	2学期 8～10月	
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・数学Ⅰ・数学Aの内容についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、既習内容を用いて事象を数学化したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。(知識・技能) ・数学Ⅰ・数学Aの内容を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、既習内容を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付ける。(思考・判断・表現) ・粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとする態度を身に付ける。(主体的) 	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの内容についての基本的な概念や原理・法則などを確実に理解できる。 ・数学的活動と既習の知識と関連付け、より深く、体系的に理解できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察できる。 ・数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・数学のよさを認識し数学を活用しようとしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・第2学期中間考査 ・課題の記述内容 ・小テスト 	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・第2学期中間考査 ・レポート・課題の記述内容 ・小テスト 	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・教師による行動観察 ・レポート・課題の取り組み方 ・自己評価 	

単元	数学Ⅱ・数学B	
評価期間	2学期 11～12月	
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・数学Ⅱ・数学Bの内容についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、既習内容を用いて事象を数学化したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。(知識・技能) ・数学Ⅱ・数学Bの内容を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、既習内容を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付ける。(思考・判断・表現) ・粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとする態度を身に付ける。(主体的) 	

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> それぞれの内容についての基本的な概念や原理・法則などを確実に理解できる。 数学的活動と既習の知識と関連付け、より深く、体系的に理解できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察できる。 数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 数学のよさを認識し数学を活用しようとしている。 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしている。
観 点		評 価 内 容
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 第2学期期末考査 課題の記述内容 小テスト 	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 第2学期期末考査 レポート・課題の記述内容 小テスト 	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 教師による行動観察 レポート・課題の取り組み方 自己評価 	

令和6年度 3学期 数学科【数学探究】 評価規準

単 元	数学Ⅱ・数学B	
評価期間	3学期 1月	
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> 数学Ⅱ・数学Bの内容についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、既習内容を用いて事象を数学化したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。(知識・技能) 数学Ⅱ・数学Bの内容を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、既習内容を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付ける。(思考・判断・表現) 粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとする態度を身に付ける。(主体的) 	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> それぞれの内容についての基本的な概念や原理・法則などを確実に理解できる。 数学的活動と既習の知識と関連付け、より深く、体系的に理解できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察できる。 数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 数学のよさを認識し数学を活用しようとしている。 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしている。

観 点	評 価 内 容
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・課題の記述内容 ・小テスト
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・レポート・課題の記述内容 ・小テスト
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・教師による行動観察 ・レポート・課題の取り組み方 ・自己評価

数学科【応用数学】 評価規準

愛媛県立今治西高等学校 数学科

教 科	数 学	科 目	応用数学		
単 位 数	3	学 年	3	類 型	Ⅲ 類 型
教 科 書	自作教材				
科目目標	<p>数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 高校数学についての基本的な概念や原理・法則を改めて体系的に理解するとともに、数学と社会生活との関わりについて認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。 2 離散的・連続的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に表現し考察する力、日常の事象や社会の事象を数学化し、問題を解決したり、解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を養う。 3 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。 				

令和6年度 2学期 数学科【応用数学】 評価規準

単 元	数学Ⅰ・数学A
評価期間	2学期 9～10月
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・数学Ⅰ・数学Aの内容についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、既習内容を用いて事象を数学化したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。(知識・技能) ・数学Ⅰ・数学Aの内容を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統一的・発展的に考察する力、既習内容を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付ける。(思考・判断・表現) ・粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとする態度を身に付ける。(主体的)

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> それぞれの内容についての基本的な概念や原理・法則などを確実に理解できる。 数学的活動と既習の知識と関連付け、より深く、体系的に理解できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察できる。 数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 数学のよさを認識し数学を活用しようとしている。 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしている。
観 点		評 価 内 容
知識・技能		<ul style="list-style-type: none"> 第1学期期末考査 課題の記述内容 小テスト
思考・判断・表現		<ul style="list-style-type: none"> 第1学期期末考査 レポート・課題の記述内容 小テスト
主体的に学習に取り組む態度		<ul style="list-style-type: none"> 教師による行動観察 レポート・課題の取り組み方 自己評価

単 元	数学Ⅱ・数学B	
評価期間	2学期 10～12月	
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> 数学Ⅱ・数学Bの内容についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、既習内容を用いて事象を数学化したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。(知識・技能) 数学Ⅱ・数学Bの内容を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、既習内容を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付ける。(思考・判断・表現) 粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとする態度を身に付ける。(主体的) 	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> それぞれの内容についての基本的な概念や原理・法則などを確実に理解できる。 数学的活動と既習の知識と関連付け、より深く、体系的に理解できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察できる。 数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 数学のよさを認識し数学を活用しようとしている。 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしている。

観 点	評 価 内 容
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・第2学期期末考査 ・課題の記述内容 ・小テスト
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・第2学期期末考査 ・レポート・課題の記述内容 ・小テスト
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・教師による行動観察 ・レポート・課題の取り組み方 ・自己評価

令和6年度 3学期 数学科【応用数学】 評価規準

単 元	数学C		
評価期間	3学期 1月		
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・数学Cの内容についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、既習内容を用いて事象を数学化したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。(知識・技能) ・数学Cの内容を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、既習内容を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付ける。(思考・判断・表現) ・粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとする態度を身に付ける。(主体的) 		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの内容についての基本的な概念や原理・法則などを確実に理解できる。 ・数学的活動と既習の知識と関連付け、より深く、体系的に理解できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察できる。 ・数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・数学のよさを認識し数学を活用しようとしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしている。 	
観 点	評 価 内 容		
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・課題の記述内容 ・小テスト 		
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・レポート・課題の記述内容 ・小テスト 		
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・教師による行動観察 ・レポート・課題の取り組み方 ・自己評価 		

理科【物理】 評価規準

愛媛県立今治西高等学校 理科

教 科	理科	科 目	物理		
単 位 数	5	学 年	3	類 型	Ⅲ類型
教 科 書	物理（数研出版）				
科目目標	<p>物理的な事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、物理的な物事・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 物理学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 2 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 3 物理的な事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。 				

令和6年度 1学期 理科【物理】 評価規準

単 元	電場	
評価時期	1学期 4～5月	
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・電気と電流についての観察、実験などを通して、電荷と電界、電界と電位、電気容量について理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 ・電気と電流について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現する。 ・電気と電流に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。 	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・電気と電流についての観察、実験などを通して、電荷と電界、電界と電位、電気容量について理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・電気と電流について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・電気と電流に関する事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・第1学期中間考査 ・観察・実験の基本操作、記録 	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・第1学期中間考査 ・学習帳の考察 	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・提出物の記述内容 ・観察・実験における取組 ・教師による行動観察 	

単元	電流	
評価時期	1学期 6～7月	
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・電気と電流についての観察、実験などを通して、電気回路について理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 ・電気と電流について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現する。 ・電気と電流に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。 	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・電気と電流についての観察、実験などを通して、電気回路について理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・電気と電流について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・電気と電流に関する事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・第1学期期末考査 ・観察・実験の基本操作、記録 	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・第1学期期末考査 ・学習帳の考察 	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・提出物の記述内容 ・観察・実験における取組 ・教師による行動観察 	

令和6年度 2・3学期 理科【物理】 評価規準

単元	電流と磁場	
評価時期	2学期 8～9月	
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・電流と自戒についての観察、実験などを通して、電流による次回、電流が次回から受ける力について理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 ・電流と磁界について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現する。 ・電流と磁界に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。 	

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 電流と磁界についての観察、実験などを通して、電流による磁界、電流が磁界から受ける力について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 電流と磁界について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 	<ul style="list-style-type: none"> 電流と磁界に関する事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 第2学期中間考査 観察・実験の基本操作、記録 	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 第2学期中間考査 学習帳の考察 	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 提出物の記述内容 観察・実験における取組 教師による行動観察 	

単 元	電磁誘導と電磁波	
評価時期	2学期 10～11月	
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> 電流と磁界についての観察、実験などを通して、電磁誘導、電磁波について理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 電流と磁界について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現する。 電流と磁界に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。 	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 電流と磁界についての観察、実験などを通して、電磁誘導、電磁波について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 電流と磁界について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 	<ul style="list-style-type: none"> 電流と磁界に関する事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

観 点	評 価 内 容
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・第2学期期末考査 ・観察・実験の基本操作、記録
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・第2学期期末考査 ・学習帳の考察
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・提出物の記述内容 ・観察・実験における取組 ・教師による行動観察

単 元	原子	
評価時期	2学期 12月、3学期1月	
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・電子と光についての観察、実験などを通して、電子、粒子性と波動性について理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 ・電子と光について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現する。 ・電子と光に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。 	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・電子と光についての観察、実験などを通して、電子、粒子性と波動性について理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・電子と光について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・電子と光に関する事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・第2学期期末考査 ・観察・実験の基本操作、記録 	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・第2学期期末考査 ・学習帳の考察 	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・提出物の記述内容 ・観察・実験における取組 ・教師による行動観察 	

理科【化学】 評価規準

愛媛県立今治西高等学校 理科

教科	理科	科目	化学		
単位数	4	学年	3	類型	理型
教科書	化学（数研出版）				
科目目標	<p>化学的な事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、化学的な事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次の通りに育成することを目指す。</p> <p>(1) 化学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。</p> <p>(3) 化学的な事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。</p>				

令和6年度 1学期 理科【化学】 評価規準

単元	第4編 有機化合物 第1章 有機化合物の分類と分析	
評価時期	1学期 4月	
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・有機化合物の分類と分析について、有機化合物の特徴や分析方法を理解する。 ・有機化合物の分類と分析について、規則性や関係性を見いだして表現する。 ・有機化合物の分類と分析に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。 	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・有機化合物の分類と分析について、基本的な概念や原理・法則などを理解している。	・有機化合物の分類と分析について、規則性や関係性を見いだして表現している。	・有機化合物の分類と分析に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・第1学期中間考査 ・小テスト 	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・第1学期中間考査 ・提出物の記述内容 	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・提出物の記述内容 ・教師による行動観察 	

単元	第4編 有機化合物 第2章 脂肪族炭化水素	
評価時期	1学期 5月	
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・脂肪族炭化水素について、性質や反応を構造と関連付けてを理解する。 ・脂肪族炭化水素について、規則性や関係性を見いだして表現する。 ・脂肪族炭化水素に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。 	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・脂肪族炭化水素性質や反応について、構造と関連付けながら基本的な概念や原理・法則などを理解している。	・脂肪族炭化水素について、規則性や関係性を見いだして表現している。	・脂肪族炭化水素に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・第1学期中間考査 ・小テスト 	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・第1学期中間考査 ・提出物の記述内容 	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・提出物の記述内容 ・教師による行動観察 	

単元	第4編 有機化合物 第3章 アルコールと関連化合物	
評価時期	1学期 6～7月	
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・アルコールと関連化合物について、構造、性質及び反応を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 ・アルコールと関連化合物について、観察、実験などを通して探究し、有機化合物における規則性や関係性を見いだして表現する。 ・アルコールと関連化合物に主体的に関わり、見通しをもったり、振り返ったりするなど、科学的に探究しようとする態度を養う。 	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・アルコールと関連化合物について、代表的な官能基をもつ脂肪族化合物の性質の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	・アルコールと関連化合物について、観察、実験などを通して探究し、科学的に考察し、表現している。	・アルコールと関連化合物に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

観 点	評 価 内 容
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・第1学期期末考査 ・観察・実験の基本操作、記録 ・小テスト
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・第1学期期末考査 ・実験ノートの考察・分析
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・提出物の記述内容 ・観察・実験における取組 ・教師による行動観察

令和6年度 2学期 理科【化学】 評価規準

単 元	第4編 有機化合物 第4章 芳香族化合物	
評価時期	2学期 8月	
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・芳香族化合物について、構造、性質及び反応を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 ・芳香族化合物について、観察、実験などを通して探究し、反応の特徴や関係性を見いだして表現する。 ・芳香族化合物に主体的に関わり、見通しをもったり、振り返ったりするなど、科学的に探究しようとする態度を養う。 	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・芳香族化合物について、脂肪族化合物と比較しながら、代表的な官能基ごとの性質や反応などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・芳香族化合物について、観察、実験などを通して探究し、科学的に考察し、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・芳香族化合物に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・第2学期中間考査 ・観察・実験の基本操作、記録 ・小テスト 	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・第2学期中間考査 ・実験ノートの考察・分析 	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・提出物の記述内容 ・観察・実験における取組 	

単元	第5編 高分子化合物 第1章 高分子化合物の性質	
評価時期	2学期 9月	
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・高分子化合物の性質について、構造、性質及び反応の特徴を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 ・高分子化合物の性質について、観察、実験などを通して探究し、高分子化合物における性質や反応の特徴を見いだして表現する。 ・高分子化合物の性質に主体的に関わり、見通しをもったり、振り返ったりするなど、科学的に探究しようとする態度を養う。 	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・高分子化合物について、低分子量の有機化合物と比較しながら、その性質や反応の特徴などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高分子化合物の性質について、観察、実験などを通して探究し、科学的に考察し、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高分子化合物の性質に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・第2学期中間考査 ・観察・実験の基本操作、記録 ・小テスト 	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・第2学期中間考査 ・実験ノートの考察・分析 	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・提出物の記述内容 ・観察・実験における取組 	

単元	第5編 高分子化合物 第2章 天然高分子化合物	
評価時期	2学期 10～11月	
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・天然高分子化合物について、構造、性質及び反応の特徴を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 ・天然高分子化合物について、観察、実験などを通して探究し、天然高分子化合物における構造や性質、反応の特徴を見いだして表現する。 ・天然高分子化合物に主体的に関わり、見通しをもったり、振り返ったりするなど、科学的に探究しようとする態度を養う。 	

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・天然高分子化合物について、構造、性質や反応の特徴などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	・天然高分子化合物について、観察、実験などを通して探究し、科学的に考察し、表現している。	・天然高分子化合物に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・第2学期期末考査 ・観察・実験の基本操作、記録 ・小テスト 	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・第2学期期末考査 ・実験ノートの考察・分析 	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・提出物の記述内容 ・観察・実験における取組 	

令和6年度 2・3学期 理科【化学】 評価規準

単 元	第5編 高分子化合物 第3章 合成高分子化合物	
評価時期	2学期 12月、3学期 1月	
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・合成高分子化合物について、構造、性質及び反応の特徴を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 ・合成高分子化合物について、観察、実験などを通して探究し、天然高分子化合物における構造や性質、反応の特徴を見いだして表現する。 ・合成高分子化合物に主体的に関わり、見通しをもったり、振り返ったりするなど、科学的に探究しようとする態度を養う。 	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・合成高分子化合物について、構造、性質や反応の特徴などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	・合成高分子化合物について、観察、実験などを通して探究し、科学的に考察し、表現している。	・合成高分子化合物に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

観 点	評 価 内 容
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・第2学期期末考査 ・観察・実験の基本操作、記録 ・小テスト
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・第2学期期末考査 ・実験ノートの考察・分析
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・提出物の記述内容 ・観察・実験における取組

理科【生物】 評価規準

愛媛県立今治西高等学校 理科

教 科	理科	科 目	生物		
単 位 数	4	学 年	3	類 型	Ⅲ類型
教 科 書	生物（数研出版）				
科 目 目 標	<p>生物や生物現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、生物や生物現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 2 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 3 生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。 				

令和6年度 1学期 理科【生物】 評価規準

単 元	第4章 遺伝情報の発現と発生		
評価時期	1学期 4月～6月		
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・遺伝情報の発現と発生について、遺伝子発現の仕組みについて学び、遺伝子発現がどのようにして起こるのかを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 ・遺伝情報の発現と発生について、観察、実験などを通して探究し、遺伝子発現の調節の特徴を見いだして表現する。 ・遺伝情報の発現と発生に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。 		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
<ul style="list-style-type: none"> ・遺伝情報の発現と発生について、遺伝情報とその発現、発生と遺伝子発現、遺伝子を扱う技術について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・遺伝情報の発現と発生について、観察、実験などを通して探究し、遺伝子発現の調節の特徴を見いだして表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・遺伝情報の発現と発生に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。 	

観 点	評 価 内 容
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1 学期中間考査 ・ 小テスト ・ 観察・実験の基本操作、記録
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1 学期中間考査 ・ 実験ノートの考察
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 提出物の記述内容 ・ 観察・実験における取組 ・ 教師による行動観察

単 元	第 5 章 動物の反応と行動	
評価時期	1 学期 6 月～8 月	
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生物の環境応答について、動物の反応と行動について理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 ・ 生物の環境応答について、観察、実験などを通して探究し、遺伝子とそのはたらしの特徴を見いだして表現する。 ・ 生物の環境応答に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。 	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・ 生物の環境応答について、動物の反応と行動について理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生物の環境応答について、観察、実験などを通して探究し、環境変化に対する生物の応答の特徴を見いだして表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生物の環境応答に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1 学期期末考査 ・ 小テスト ・ 観察・実験の基本操作、記録 	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1 学期期末考査 ・ 実験ノートの考察 	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 提出物の記述内容 ・ 観察・実験における取組 ・ 教師による行動観察 	

令和6年度 2学期 理科【生物】 評価規準

単元	第6章 植物の環境応答	
評価時期	2学期 8月～10月	
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・生物の環境応答について、植物の環境応答について理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 ・生物の環境応答について、観察、実験などを通して探究し、遺伝子とそのはたらきの特徴を見いだして表現する。 ・生物の環境応答に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。 	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・生物の環境応答について、植物の環境応答について理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生物の環境応答について、観察、実験などを通して探究し、環境変化に対する生物の応答の特徴を見いだして表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生物の環境応答に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・2学期中間考査 ・小テスト ・観察・実験の基本操作、記録 	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・2学期中間考査 ・実験ノートの考察 	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・提出物の記述内容 ・観察・実験における取組 ・教師による行動観察 	

令和6年度 2・3学期 理科【生物】 評価規準

単元	第7章 生物群集と生態系	
評価時期	2学期 10月～12月、3学期1月	
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・生態と環境について、個体群と生物群集及び生態系について理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 ・生態と環境について、観察、実験などを通して探究し、生態系における、生物間の関係性及び生物と環境との関係性をを見いだして表現する。 ・生態と環境に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。 	

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・生態と環境について、個体群と生物群集及び生態系について理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	・生態と環境について、観察、実験などを通して探究し、生態系における、生物間の関係性及び生物と環境との関係性を見いだして表現している。	・生態と環境に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・2学期期末考査 ・小テスト ・観察・実験の基本操作、記録 	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・2学期期末考査 ・実験ノートの考察 	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・提出物の記述内容 ・観察・実験における取組 ・教師による行動観察 	

理科【理科探究】 評価規準

愛媛県立今治西高等学校 普通科

教 科	理	科 目	理科探究		
単 位 数	4	学 年	3	類 型	I・II型
教 科 書	2022年度版 理科学習資料 探究				
科目目標	<ul style="list-style-type: none"> ・理科の内容への興味を深め、学力の定着を図る。 ・実験や授業内容での課題に対する議論を通じた既習事項の定着、応用力の養成を目指す。 				

令和6年度 1学期 理科【理科探究】 評価規準

単 元	地形と地質
評価時期	4、5月
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・地球のすがたについて、観察、実験などを通して探究し、惑星としての地球、活動する地球、大気と海洋について、規則性や関係性を見いだして表現する。 ・地球のすがたに主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとする態度を養う。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 活動する地球地球について、プレートの運動、火山活動と地震の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 活動する地球について、観察、実験などを通して探究し、活動する地球について、規則性や関係性を見いだして表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 活動する地球に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 第1学期中間考査 観察・実験の基本操作、記録 	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 第1学期中間考査 探究の考察 	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 提出物の記述内容 観察・実験における取組 教師による行動観察 	

単 元	植物	
評価時期	5、6月	
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> 生物の特徴について、観察、実験などを通して探究し、多様な生物がもつ共通の特徴を見いだして表現する。 生物の特徴に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとする態度を養う。 	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 植生と遷移について、基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 植生と遷移について、観察、実験などを通して探究し、植生と環境との関係性を見いだして表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 植生と遷移に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

観 点	評 価 内 容
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・第1学期中間考査 ・第1学期期末考査 ・観察・実験の基本操作、記録
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・第1学期中間考査 ・第1学期期末考査 ・探究の考察
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・提出物の記述内容 ・観察・実験における取組 ・教師による行動観察

単 元	動物	
評価時期	6、7月	
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・生物の特徴について、観察、実験などを通して探究し、多様な生物がもつ共通の特徴を見いだして表現する。 ・生物の特徴に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとする態度を養う。 	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・免疫について、基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・免疫について、観察、実験などを通して探究し、免疫の働きの特徴を見いだして表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・免疫に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・第1学期期末考査 ・観察・実験の基本操作、記録 	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・第1学期期末考査 ・探究の考察 	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・提出物の記述内容 ・観察・実験における取組 ・教師による行動観察 	

令和6年度 2学期 理科【理科探究】 評価規準

単元	愛媛の産業と科学	
評価時期	7～9月	
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> 身近な物質や元素について、観察、実験などを通して探究し、科学的に考察し、表現する。 化学と人間生活に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとする態度を養う。 	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 化学と物質について、化学の特徴、物質の分離・精製、単体と化合物、熱運動と物質の三態の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 化学と物質について、観察、実験などを通して探究し、科学的に考察し、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 化学と物質に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
観点	評価内容	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 第2学期中間考査 観察・実験の基本操作、記録 	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 第2学期中間考査 探究の考察 	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 提出物の記述内容 観察・実験における取組 教師による行動観察 	

単元	気候	
評価時期	9、10月	
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> 地球のすがたについて、観察、実験などを通して探究し、惑星としての地球、活動する地球、大気と海洋について、規則性や関係性を見出して表現する。 地球のすがたに主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとする態度を養う。 	

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・大気と海洋について、地球の熱収支、大気と海水の運動の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大気と海洋について、観察、実験などを通して探究し、大気と海洋について、規則性や関係性を見いだして表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大気と海洋に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・第2学期中間考査 ・第2学期期末考査 ・観察・実験の基本操作、記録 	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・第2学期中間考査 ・第2学期期末考査 ・探究の考察 	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・提出物の記述内容 ・観察・実験における取組 ・教師による行動観察 	

単 元	生物多様性の破壊とその保全	
評価時期	10、11月	
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・生物の多様性と生態系について、観察、実験などを通して探究し、生態系における、生物の多様性及び生物と環境との関係性を見いだして表現する。 ・生物の多様性と生態系に主体的に関わり、見通しを持ったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとする態度を養う。 	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・生態系とその保全について、生態系と生物の多様性、生態系のバランスと保全の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生態系とその保全について、観察、実験などを通して探究し、生態系における、生物の多様性及び生物と環境との関係性を見いだして表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生態系とその保全に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

観 点	評 価 内 容
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・第2学期期末考査 ・観察・実験の基本操作、記録
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・第2学期期末考査 ・探究の考察
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・提出物の記述内容 ・観察・実験における取組 ・教師による行動観察

単 元	大気汚染	
評価時期	1 2月	
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・地球のすがたについて、観察、実験などを通して探究し、惑星としての地球、活動する地球、大気と海洋について、規則性や関係性を見出して表現する。 ・地球のすがたに主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとする態度を養う。 	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・大気と海洋について、地球の熱収支、大気と海水の運動の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大気と海洋について、観察、実験などを通して探究し、大気と海洋について、規則性や関係性を見いだして表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大気と海洋に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・観察・実験の基本操作、記録 	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・探究の考察 	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・提出物の記述内容 ・観察・実験における取組 ・教師による行動観察 	

令和6年度 3学期 理科【理科探究】 評価規準

単元	大気汚染	
評価時期	12月、1月	
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> 地球のすがたについて、観察、実験などを通して探究し、惑星としての地球、活動する地球、大気と海洋について、規則性や関係性を見いだして表現する。 地球のすがたに主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとする態度を養う。 	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 大気と海洋について、地球の熱収支、大気と海水の運動の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 大気と海洋について、観察、実験などを通して探究し、大気と海洋について、規則性や関係性を見いだして表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 大気と海洋に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
観点	評価内容	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 観察・実験の基本操作、記録 	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 探究の考察 	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 提出物の記述内容 観察・実験における取組 教師による行動観察 	

単元	水質汚染	
評価時期	12月、1月	
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> 地球のすがたについて、観察、実験などを通して探究し、惑星としての地球、活動する地球、大気と海洋について、規則性や関係性を見いだして表現する。 地球のすがたに主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとする態度を養う。 	

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・大気と海洋について、地球の熱収支、大気と海水の運動の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	・大気と海洋について、観察、実験などを通して探究し、大気と海洋について、規則性や関係性を見いだして表現している。	・大気と海洋に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	・観察・実験の基本操作、記録	
思考・判断・表現	・探究の考察	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・提出物の記述内容 ・観察・実験における取組 ・教師による行動観察 	

単 元	土壌汚染	
評価時期	1月	
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・変動する地球について、観察、実験などを通して探究し、地球の変遷、地球の環境について、規則性や関係性を見いだして表現する。 ・変動する地球に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとする態度を養う。 	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・地球の環境について、地球環境の科学、日本の自然環境の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	・地球の環境について、観察、実験などを通して探究し、地球の環境について、規則性や関係性を見いだして表現している。	・地球の環境に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	・観察・実験の基本操作、記録	
思考・判断・表現	・探究の考察	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・提出物の記述内容 ・観察・実験における取組 ・教師による行動観察 	

保健体育科【体育】 評価規準

愛媛県立今治西高等学校 保健体育科

教 科	保健体育	科 目	体育		
単 位 数	3	学 年	3	類 型	共通
教 科 書	新高等保健体育（大修館）				
科目目標	<p>体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を育成することを旨とする。</p> <p>1 運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。</p> <p>2 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。</p> <p>3 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。</p>				

令和6年度 1学期 保健体育科【体育】 評価規準

単 元	体づくり運動
評価時期	1学期 4月
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・次の運動を通して、体を動かす楽しさや心地よさを味わい、体づくり運動の行い方、体力の構成要素、実生活への取り入れ方などを理解するとともに、自己の体力や生活に応じた継続的な運動の計画を立て、実生活に役立てることができるようにする。 (1) 体ほぐしの運動では、手軽な運動を行い、心と体は互いに影響し変化することや心身の状態に気付き、仲間と自主的に関わり合うことができるようにする。 (2) 実生活に生かす運動の計画では、自己のねらいに応じて、健康の保持増進や調和のとれた体力の向上を図るための継続的な運動の計画を立て取り組むことができるようにする。 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 ・体づくり運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い高め合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとする、合意形成に貢献しようとするなどや、健康・安全を確保することができるようにする。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○知識 ・体づくり運動の行い方、体力の構成要素、実生活への取り入れ方などについて理解している。	・生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	・体づくり運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとする、合意形成に貢献しようとするなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	・振り返りシートの記述内容 ・単元小テスト	
思考・判断・表現	・教師による行動観察 ・レポート課題の記述内容	
主体的に学習に取り組む態度	・振り返りシートの記述内容 ・教師による行動観察	

単 元	球技 選択Ⅰ (ハンドボール・バスケットボール・バレーボール・ソフトボール・テニス・卓球)
評価時期	1学期 5～7月
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・次の運動について、勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができるようにする。 (1) ゴール型では、状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防をすることができるようにする。 (2) ネット型では、状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防をすることができるようにする。 (3) ベースボール型では、状況に応じたバット操作と走塁での攻撃、安定したボール操作と状況に応じた守備などによって攻防をすることができるようにする。 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができるようにする。 ・球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、合意形成に貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い高め合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>○知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などについて理解している。 <p>○技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゴール型では、状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防をすることができる。 ・ネット型では、状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防をすることができる。 ・ベースボール型では、状況に応じたバット操作と走塁での攻撃、安定したボール操作と状況に応じた守備などによって攻防をすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、合意形成に貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い高め合おうとすることなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・教師による行動観察 ・単元小テスト ・技能テスト 	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・教師による行動観察 ・レポート課題の記述内容 	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りシートの記述内容 ・教師による行動観察 	

単 元	体育理論	
評価時期	1学期 7月（3時間）	
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・豊かなスポーツライフの設計の仕方について理解することができるようにする。 (1) スポーツは、各ライフステージにおける身体的、心理的、社会的特徴に応じた多様な楽しみ方があること。また、その楽しみ方は、個人のスポーツに対する欲求などによっても変化することについて、理解することができるようにする。 (2) 生涯にわたってスポーツを継続するためには、ライフスタイルに応じたスポーツとの関わり方を見付けること、仕事と生活の調和を図ること、運動の機会を生み出す工夫をすることなどが必要であることについて、理解することができるようにする。 (3) スポーツの推進は、様々な施策や組織、人々の支援や参画によって支えられていることについて、理解することができるようにする。 (4) 人生に潤いをもたらす貴重な文化的資源として、スポーツを未来に継承するためには、スポーツの可能性と問題点を踏まえて適切な「する、みる、支える、知る」などの関りが求められることについて、理解することができるようにする。 ・豊かなスポーツライフの設計の仕方について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えることができるようにする。 ・豊かなスポーツライフの設計の仕方についての学習に自主的に取り組むことができるようにする。 	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○知識 ・豊かなスポーツライフの設計の仕方について理解している。	・豊かなスポーツライフの設計の仕方について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えている。	・豊かなスポーツライフの設計の仕方についての学習に主体的に取り組もうとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・教師による行動観察 ・単元小テスト 	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・レポート課題の記述内容 	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りシートの記述内容 ・教師による行動観察 	

令和6年度 2学期 保健体育科【体育】 評価規準

単元	体づくり運動	
評価時期	2学期 8月～9月	
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・次の運動を通して、体を動かす楽しさや心地よさを味わい、体づくり運動の行い方、体力の構成要素、実生活への取り入れ方などを理解するとともに、自己の体力や生活に応じた継続的な運動の計画を立て、実生活に役立てることができるようにする。 (1) 体ほぐしの運動では、手軽な運動を行い、心と体は互いに影響し変化することや心身の状態に気付き、仲間と自主的に関わり合うことができるようにする。 (2) 実生活に生かす運動の計画では、自己のねらいに応じて、健康の保持増進や調和のとれた体力の向上を図るための継続的な運動の計画を立て取り組むことができるようにする。 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 ・体づくり運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い高め合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとする、合意形成に貢献しようとするなどや、健康・安全を確保することができるようにする。 	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○知識 ・運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などについて理解している。	・自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	・体づくり運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとする、話し合いに貢献しようとするなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	・振り返りシートの記述内容 ・単元小テスト	
思考・判断・表現	・教師による行動観察 ・レポート課題の記述内容	
主体的に学習に取り組む態度	・振り返りシートの記述内容 ・教師による行動観察	

<p>単元</p>	<p>球技 選択Ⅱ (サッカー・バスケットボール・バレーボール・バドミントン・テニス・卓球)</p>	
<p>評価時期</p>	<p>2学期 9～12月</p>	
<p>単元の目標</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・次の運動について、勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができるようにする。 (1) ゴール型では、状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防をすることができるようにする。 (2) ネット型では、状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防をすることができるようにする。 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができるようにする。 ・球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、合意形成に貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い高め合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。 	
<p>知識・技能</p>	<p>思考・判断・表現</p>	<p>主体的に学習に取り組む態度</p>
<p>○知識 ・技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などについて理解している。</p> <p>○技能 ・ゴール型では、状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防をすることができる。</p> <p>・ネット型では、状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防をすることができる。</p>	<p>・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えている。</p>	<p>・球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、合意形成に貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い高め合おうとすることなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。</p>
<p>観 点</p>	<p>評 価 内 容</p>	
<p>知識・技能</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教師による行動観察 ・単元小テスト ・技能テスト 	
<p>思考・判断・表現</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教師による行動観察 ・レポート課題の記述内容 	
<p>主体的に学習に取り組む態度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りシートの記述内容 ・教師による行動観察 	

単元	体育理論	
評価時期	2学期 11月（3時間）	
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・豊かなスポーツライフの設計の仕方について理解することができるようにする。 (1) スポーツは、各ライフステージにおける身体的、心理的、社会的特徴に応じた多様な楽しみ方があること。また、その楽しみ方は、個人のスポーツに対する欲求などによっても変化することについて、理解することができるようにする。 (2) 生涯にわたってスポーツを継続するためには、ライフスタイルに応じたスポーツとの関わり方を見付けること、仕事と生活の調和を図ること、運動の機会を生み出す工夫をすることなどが必要であることについて、理解することができるようにする。 (3) スポーツの推進は、様々な施策や組織、人々の支援や参画によって支えられていることについて、理解することができるようにする。 (4) 人生に潤いをもたらす貴重な文化的資源として、スポーツを未来に継承するためには、スポーツの可能性と問題点を踏まえて適切な「する、みる、支える、知る」などの関りが求められることについて、理解することができるようにする。 ・豊かなスポーツライフの設計の仕方について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えることができるようにする。 ・豊かなスポーツライフの設計の仕方についての学習に自主的に取り組むことができるようにする。 	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○知識 ・豊かなスポーツライフの設計の仕方について理解している。	・豊かなスポーツライフの設計の仕方について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えている。	・豊かなスポーツライフの設計の仕方についての学習に主体的に取り組もうとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・教師による行動観察 ・単元小テスト 	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・レポート課題の記述内容 	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りシートの記述内容 ・教師による行動観察 	

令和6年度 3学期 保健体育科【体育】 評価規準

<p>単元</p>	<p>球技 選択Ⅱの続き (サッカー・バスケットボール・バレーボール・バドミントン・テニス・卓球)</p>	
<p>評価時期</p>	<p>3学期 1月</p>	
<p>単元の目標</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・次の運動について、勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができるようにする。 (1) ゴール型では、状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防をすることができるようにする。 (2) ネット型では、状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防をすることができるようにする。 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができるようにする。 ・球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする事、合意形成に貢献しようとする事、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする事、互いに助け合い高め合おうとする事などや、健康・安全を確保することができるようにする。 	
<p>知識・技能</p>	<p>思考・判断・表現</p>	<p>主体的に学習に取り組む態度</p>
<p>○知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などについて理解している。 <p>○技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゴール型では、状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防をすることができる。 ・ネット型では、状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防をすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする事、合意形成に貢献しようとする事、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする事、互いに助け合い高め合おうとする事などをしたり、健康・安全を確保したりしている。

観 点	評 価 内 容
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・教師による行動観察 ・単元小テスト ・技能テスト
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・教師による行動観察 ・レポート課題の記述内容
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りシートの記述内容 ・教師による行動観察

外国語科【英語コミュニケーションⅢ】 評価規準

愛媛県立今治西高等学校 英語科

教科	外国語	科目	英語コミュニケーションⅢ		
単位数	4	学年	3	類型	I II 類型
教科書	CROWN English CommunicationⅢ (三省堂)				
科目目標	<p>英語学習の特質を踏まえ、以下に示す、聞くこと、読むこと、話すこと[やり取り]、話すこと[発表]、書くことの五つの領域別に設定する目標の実現を目指した指導を通して、第1款の(1)及び(2)に示す脂質・能力を一体的に育成するとともに、その過程を通して、第1款の(3)に示す資質・能力を育成する。</p> <p>※「第1款」の内容は後述の通り。</p> <p>1 聞くこと</p> <p>(1) 日常的话题について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、必要な情報を聞き取り、話の展開や話し手の意図を把握することができるようにする。</p> <p>(2) 社会的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、話の展開に注意しながら必要な情報を聞き取り、概要や要点、詳細を目的に応じてとらえることができるようにする。</p> <p>2 読むこと</p> <p>(1) 日常的话题について、使用される語句や文、情報量などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図を把握することができるようにする。</p> <p>(2) 社会的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、文章の展開に注意しながら必要な情報を読み取り、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えることができるようにする。</p> <p>3 話すこと[やり取り]</p> <p>(1) 日常的话题について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて、情報や考え、気持ちなどを詳しく話して伝えあうやり取りを続け、会話を発展させることができるようにする。</p> <p>(2) 社会的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて、情報や考え、課題の解決策などを論理的に詳しく話して伝え合うことができるようにする。</p> <p>4 話すこと[発表]</p> <p>(1) 日常的话题について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて、情報や考え、気持ちなどを論理的に詳しく話して伝えることができるようにする。</p> <p>(2) 社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、支援</p>				

	<p>をほとんど活用しなくても、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて、情報や考え、気持ちなどを論理的に詳しく話して伝えることができるようにする。</p> <p>5 書くこと</p> <p>(1) 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて、情報や考え、気持ちなどを複数の段階から成る文章で論理的に詳しく書いて伝えることができるようにする。</p> <p>(2) 社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に書いて、情報や考え、気持ちなどを複数の段落からなる文章で論理的に詳しく書いて伝えることができるようにする。</p> <p>※第1款 目標</p> <p>1 外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動及びこれらを結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝えあったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次の通り育成することを目指す。</p> <p>(1) 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。</p> <p>(3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、聞き手に配慮しながら、主体的、自立的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。</p>
--	--

令和6年度 1学期 外国語科【英語コミュニケーションⅢ】 評価規準

単 元	Part 1
評価時期	4月～5月
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 言語材料（音声や語彙、表現、文法、言語の働き）を理解する。 ・ 内容（言語が思考にもたらす影響、手助けを必要とする「<弱い>ロボット」、フェイクニュースの危険性と対処法）について、話や文章の展開に注意しながら聞き取ったり読み取ったりして、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えることができる。 ・ 内容について聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を目的に応じて適切に用い、情報や考え、気持ちなどを論理的に、聞き手や読み手に詳しく話したり書いたりして伝えることができる。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・ 言語材料を理解している。 ・ 言語材料に留意して、内容を把握する技能を身に付けている。 ・ 内容について情報や考え、気持ちなどを、論理的に詳しく伝える技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 内容について、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えている。 ・ 聞き手や読み手によく理解してもらえるように、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を適切に用いて、情報や考え、気持ちなどを、論理的に詳しく話したり書いたりして伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 内容について、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えようとしている。 ・ 聞き手や読み手によく理解してもらえるように、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を適切に用いて、情報や考え、気持ちなどを、論理的に詳しく話したり書いたりして伝えようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1学期定期考査 ・ 学習プリントの記述内容 ・ 単語テスト 	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1学期定期考査 ・ Wrap It Up!/Addressing the Issue の記述内容 	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教師による行動観察 ・ Another Point of View への取り組み ・ 課題の記述内容 	

単 元	Part 2
評価時期	5月～7月
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 言語材料（音声や語彙、表現、文法、言語の働き）を理解する。 ・ 内容（最先端義足の開発者 Hugh Herr 氏の活動、「先延ばし癖」の克服方法、家電ゴミ問題や企業戦略と消費者活動、武装解除に携わる瀬谷ルミ子氏の活動）について、話や文章の展開に注意しながら聞き取ったり読み取ったりして、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えることができる。 ・ 内容について聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を目的に応じて適切に用い、情報や考え、気持ちなどを論理的に、聞き手や読み手に詳しく話したり書いたりして伝えることができる。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・ 言語材料を理解している。 ・ 言語材料に留意して、内容を把握する技能を身に付けている。 ・ 内容について情報や考え、気持ちなどを、論理的に詳しく伝える技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 内容について、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えている。 ・ 聞き手や読み手によく理解してもらえるように、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を適切に用いて、情報や考え、気持ちなどを、論理的に詳しく話したり書いたりして伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 内容について、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えようとしている。 ・ 聞き手や読み手によく理解してもらえるように、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を適切に用いて、情報や考え、気持ちなどを、論理的に詳しく話したり書いたりして伝えようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1学期定期考査 ・ 学習プリントの記述内容 ・ 単語テスト 	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1学期定期考査 ・ Wrap It Up!/Addressing the Issue の記述内容 	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教師による行動観察 ・ Another Point of View への取り組み ・ 課題の記述内容 	

単 元	パフォーマンステスト	
評価時期	4月～7月	
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 内容（日常的・社会的な話題）について聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を目的に応じて適切に用い、情報や考え、気持ちなどを論理的に、聞き手や読み手に詳しく話したり書いたりして伝えることができる。 	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報や考え、気持ちを論理的に伝えるために必要な言語材料を理解している。 ・ 内容について情報や考え、気持ちなどを、論理的に詳しく伝える技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 聞き手や読み手によく理解してもらえるように、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちを論理的に詳しく話したり書いたりして伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 聞き手や読み手によく理解してもらえるように、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちを論理的に詳しく話したり書いたりして伝えようとしている。

観 点	評 価 内 容
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1学期定期考査 ・ パフォーマンステストの課題
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1学期定期考査 ・ パフォーマンステストの課題
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教師による行動観察 ・ Self-check の記述内容

令和6年度 2学期 外国語科【英語コミュニケーションⅢ】 評価規準

単 元	Part 3	
評価時期	7月～11月	
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 言語材料を理解する。 ・ 内容（スーパークローン文化財、動物文化、裕福さと思いやりの関係を扱った研究）について、話や文章の展開に注意しながら聞き取ったり読み取ったりして、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えることができる。 ・ 内容について聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を目的に応じて適切に用い、情報や考え、気持ちなどを論理的に、聞き手や読み手に詳しく話したり書いたりして伝えることができる。 	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・ 言語材料を理解している。 ・ 言語材料に留意して、内容を把握する技能を身に付けている。 ・ 内容について情報や考え、気持ちなどを、論理的に詳しく伝える技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 内容について、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えている。 ・ 聞き手や読み手によく理解してもらえるように、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を適切に用いて、情報や考え、気持ちなどを、論理的に詳しく話したり書いたりして伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 内容について、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えようとしている。 ・ 聞き手や読み手によく理解してもらえるように、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を適切に用いて、情報や考え、気持ちなどを、論理的に詳しく話したり書いたりして伝えようとしている。
観点	評 価 内 容	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2学期定期考査 ・ 学習プリントの記述内容 ・ 単語テスト 	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2学期定期考査 ・ Wrap It Up!/Addressing the Issue の記述内容 	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教師による行動観察 ・ Another Point of View への取り組み ・ 課題の記述内容 	

単元	パフォーマンステスト	
評価時期	7月～12月	
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> 内容（日常的・社会的な話題）について、話や文章の展開に注意しながら聞き取ったり読み取ったりしながら、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えることができる。 内容について聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を目的に応じて適切に用い、情報や考え、気持ちなどを論理的に、読み手に詳しく書いて伝えることができる。 	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 話や文章の概要や要点、詳細を目的に応じて捉えるために必要な言語材料を理解している。 情報や考え、気持ちを論理的に伝えるために必要な言語材料を理解している。 言語材料に留意しながら、内容について話や文章の展開に注意しながら概要や要点、詳細を目的に応じて捉えたり、情報や考え、気持ちを論理的に書いて伝えたりする技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 話や文章の展開に注意しながら、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えている。 読み手によく理解してもらえるように、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちを論理的に詳しく書いて伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 話や文章の展開に注意しながら、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えている。 読み手によく理解してもらえるように、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちを論理的に詳しく書いて伝えている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 2学期定期考査 パフォーマンステストの課題 	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 2学期定期考査 パフォーマンステストの課題 	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 教師による行動観察 Self-check の記述内容 	

令和6年度 3学期 外国語科【英語コミュニケーションⅢ】 評価規準

単元	パフォーマンステスト	
評価時期	12月～1月	
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> 内容（日常的・社会的な話題）について、話や文章の展開に注意しながら聞き取ったり読み取ったりしながら、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えることができる。 内容について聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を目的に応じて適切に使い、情報や考え、気持ちなどを論理的に、読み手に詳しく書いて伝えることができる。 	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 話や文章の概要や要点、詳細を目的に応じて捉えるために必要な言語材料を理解している。 情報や考え、気持ちを論理的に伝えるために必要な言語材料を理解している。 言語材料に留意しながら、内容について話や文章の展開に注意しながら概要や要点、詳細を目的に応じて捉えたり、情報や考え、気持ちを論理的に書いて伝えたりする技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 話や文章の展開に注意しながら、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えている。 読み手によく理解してもらえるように、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちを論理的に詳しく書いて伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 話や文章の展開に注意しながら、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えている。 読み手によく理解してもらえるように、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちを論理的に詳しく書いて伝えている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> パフォーマンステストの課題 	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> パフォーマンステストの課題 	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 教師による行動観察 Self-check の記述内容 	

外国語科【英語コミュニケーションⅢ】 評価規準

愛媛県立今治西高等学校 英語科

教科	外国語	科目	英語コミュニケーションⅢ		
単位数	3	学年	3	類型	Ⅲ類型
教科書	CROWN English CommunicationⅢ (三省堂)				
科目目標	<p>英語学習の特質を踏まえ、以下に示す、聞くこと、読むこと、話すこと[やり取り]、話すこと[発表]、書くことの五つの領域別に設定する目標の実現を目指した指導を通して、第1款の(1)及び(2)に示す脂質・能力を一体的に育成するとともに、その過程を通して、第1款の(3)に示す資質・能力を育成する。</p> <p>※「第1款」の内容は後述の通り。</p> <p>1 聞くこと</p> <p>(1) 日常的话题について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、必要な情報を聞き取り、話の展開や話し手の意図を把握することができるようにする。</p> <p>(2) 社会的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、話の展開に注意しながら必要な情報を聞き取り、概要や要点、詳細を目的に応じてとらえることができるようにする。</p> <p>2 読むこと</p> <p>(1) 日常的话题について、使用される語句や文、情報量などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図を把握することができるようにする。</p> <p>(2) 社会的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、文章の展開に注意しながら必要な情報を読み取り、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えることができるようにする。</p> <p>3 話すこと[やり取り]</p> <p>(1) 日常的话题について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて、情報や考え、気持ちなどを詳しく話して伝えあうやり取りを続け、会話を発展させることができるようにする。</p> <p>(2) 社会的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて、情報や考え、課題の解決策などを論理的に詳しく話して伝え合うことができるようにする。</p> <p>4 話すこと[発表]</p> <p>(1) 日常的话题について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて、情報や考え、気持ちなどを論理的に詳しく話して伝えることができるようにする。</p> <p>(2) 社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、支援</p>				

	<p>をほとんど活用しなくても、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて、情報や考え、気持ちなどを論理的に詳しく話して伝えることができるようにする。</p> <p>5 書くこと</p> <p>(1) 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて、情報や考え、気持ちなどを複数の段階から成る文章で論理的に詳しく書いて伝えることができるようにする。</p> <p>(2) 社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に書いて、情報や考え、気持ちなどを複数の段落からなる文章で論理的に詳しく書いて伝えることができるようにする。</p> <p>※第1款 目標</p> <p>1 外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動及びこれらを結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝えあったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次の通り育成することを目指す。</p> <p>(1) 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。</p> <p>(3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、聞き手に配慮しながら、主体的、自立的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。</p>
--	--

令和6年度 1学期 外国語科【英語コミュニケーションⅢ】 評価規準

単 元	Part 1
評価時期	4月～5月
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 言語材料（音声や語彙、表現、文法、言語の働き）を理解する。 ・ 内容（言語が思考にもたらす影響、手助けを必要とする「<弱い>ロボット」、フェイクニュースの危険性と対処法）について、話や文章の展開に注意しながら聞き取ったり読み取ったりして、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えることができる。 ・ 内容について聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を目的に応じて適切に用い、情報や考え、気持ちなどを論理的に、聞き手や読み手に詳しく話したり書いたりして伝えることができる。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・ 言語材料を理解している。 ・ 言語材料に留意して、内容を把握する技能を身に付けている。 ・ 内容について情報や考え、気持ちなどを、論理的に詳しく伝える技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 内容について、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えている。 ・ 聞き手や読み手によく理解してもらえるように、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を適切に用いて、情報や考え、気持ちなどを、論理的に詳しく話したり書いたりして伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 内容について、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えようとしている。 ・ 聞き手や読み手によく理解してもらえるように、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を適切に用いて、情報や考え、気持ちなどを、論理的に詳しく話したり書いたりして伝えようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1学期定期考査 ・ 学習プリントの記述内容 ・ 単語テスト 	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1学期定期考査 ・ Wrap It Up!/Addressing the Issue の記述内容 	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教師による行動観察 ・ Another Point of View への取り組み ・ 課題の記述内容 	

単 元	Part 2
評価時期	5月～7月
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 言語材料（音声や語彙、表現、文法、言語の働き）を理解する。 ・ 内容（最先端義足の開発者 Hugh Herr 氏の活動、「先延ばし癖」の克服方法、家電ゴミ問題や企業戦略と消費者活動、武装解除に携わる瀬谷ルミ子氏の活動）について、話や文章の展開に注意しながら聞き取ったり読み取ったりして、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えることができる。 ・ 内容について聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を目的に応じて適切に用い、情報や考え、気持ちなどを論理的に、聞き手や読み手に詳しく話したり書いたりして伝えることができる。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 言語材料を理解している。 言語材料に留意して、内容を把握する技能を身に付けている。 内容について情報や考え、気持ちなどを、論理的に詳しく伝える技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 内容について、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えている。 聞き手や読み手によく理解してもらえるように、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を適切に用いて、情報や考え、気持ちなどを、論理的に詳しく話したり書いたりして伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 内容について、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えようとしている。 聞き手や読み手によく理解してもらえるように、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を適切に用いて、情報や考え、気持ちなどを、論理的に詳しく話したり書いたりして伝えようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 1学期定期考査 学習プリントの記述内容 単語テスト 	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 1学期定期考査 Wrap It Up!/Addressing the Issue の記述内容 	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 教師による行動観察 Another Point of View への取り組み 課題の記述内容 	

単 元	パフォーマンステスト	
評価時期	4月～7月	
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> 内容（日常的・社会的な話題）について聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を目的に応じて適切に用い、情報や考え、気持ちなどを論理的に、聞き手や読み手に詳しく話したり書いたりして伝えることができる。 	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 情報や考え、気持ちを論理的に伝えるために必要な言語材料を理解している。 内容について情報や考え、気持ちなどを、論理的に詳しく伝える技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 聞き手や読み手によく理解してもらえるように、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちを論理的に詳しく話したり書いたりして伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 聞き手や読み手によく理解してもらえるように、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちを論理的に詳しく話したり書いたりして伝えようとしている。

観 点	評 価 内 容
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 1 学期定期考査 パフォーマンステストの課題
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 1 学期定期考査 パフォーマンステストの課題
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 教師による行動観察 Self-check の記述内容

令和6年度 2学期 外国語科【英語コミュニケーションⅢ】 評価規準

単 元	Part 3	
評価時期	7月～11月	
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> 言語材料を理解する。 内容（スーパークローン文化財、動物文化、裕福さと思いやりの関係を扱った研究）について、話や文章の展開に注意しながら聞き取ったり読み取ったりして、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えることができる。 内容について聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を目的に応じて適切に用い、情報や考え、気持ちなどを論理的に、聞き手や読み手に詳しく話したり書いたりして伝えることができる。 	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 言語材料を理解している。 言語材料に留意して、内容を把握する技能を身に付けている。 内容について情報や考え、気持ちなどを、論理的に詳しく伝える技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 内容について、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えている。 聞き手や読み手によく理解してもらえるように、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を適切に用いて、情報や考え、気持ちなどを、論理的に詳しく話したり書いたりして伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 内容について、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えようとしている。 聞き手や読み手によく理解してもらえるように、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を適切に用いて、情報や考え、気持ちなどを、論理的に詳しく話したり書いたりして伝えようとしている。
観点	評 価 内 容	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 2 学期定期考査 学習プリントの記述内容 単語テスト 	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 2 学期定期考査 Wrap It Up!/Addressing the Issue の記述内容 	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 教師による行動観察 Another Point of View への取り組み 課題の記述内容 	

単元	パフォーマンステスト	
評価時期	7月～12月	
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> 内容（日常的・社会的な話題）について、話や文章の展開に注意しながら聞き取ったり読み取ったりしながら、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えることができる。 内容について聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を目的に応じて適切に用い、情報や考え、気持ちなどを論理的に、読み手に詳しく書いて伝えることができる。 	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 話や文章の概要や要点、詳細を目的に応じて捉えるために必要な言語材料を理解している。 情報や考え、気持ちを論理的に伝えるために必要な言語材料を理解している。 言語材料に留意しながら、内容について話や文章の展開に注意しながら概要や要点、詳細を目的に応じて捉えたり、情報や考え、気持ちを論理的に書いて伝えたりする技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 話や文章の展開に注意しながら、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えている。 読み手によく理解してもらえるように、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちを論理的に詳しく書いて伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 話や文章の展開に注意しながら、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えている。 読み手によく理解してもらえるように、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちを論理的に詳しく書いて伝えている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 2学期定期考査 パフォーマンステストの課題 	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 2学期定期考査 パフォーマンステストの課題 	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 教師による行動観察 Self-check の記述内容 	

令和6年度 3学期 外国語科【英語コミュニケーションⅢ】 評価規準

単元	パフォーマンステスト	
評価時期	12月～1月	
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> 内容（日常的・社会的な話題）について、話や文章の展開に注意しながら聞き取ったり読み取ったりしながら、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えることができる。 内容について聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を目的に応じて適切に使い、情報や考え、気持ちなどを論理的に、読み手に詳しく書いて伝えることができる。 	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 話や文章の概要や要点、詳細を目的に応じて捉えるために必要な言語材料を理解している。 情報や考え、気持ちを論理的に伝えるために必要な言語材料を理解している。 言語材料に留意しながら、内容について話や文章の展開に注意しながら概要や要点、詳細を目的に応じて捉えたり、情報や考え、気持ちを論理的に書いて伝えたりする技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 話や文章の展開に注意しながら、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えている。 読み手によく理解してもらえるように、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちを論理的に詳しく書いて伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 話や文章の展開に注意しながら、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えている。 読み手によく理解してもらえるように、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちを論理的に詳しく書いて伝えている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> パフォーマンステストの課題 	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> パフォーマンステストの課題 	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 教師による行動観察 Self-check の記述内容 	

外国語科【論理・表現Ⅲ】 評価規準

愛媛県立今治西高等学校 英語科

教 科	外国語	科 目	論理・表現Ⅲ		
単 位 数	2	学 年	3	類 型	I II III類型
教 科 書	be Smart English Logic and ExpressionⅢ (いわずな書店)				
科目目標	<p>英語学習の特質を踏まえ、以下に示す、話すこと[やり取り]、話すこと[発表]、書くことの三つの領域別に設定する目標の実現を目指した指導を通して、第1款の(1)及び(2)に示す資質・能力を一体的に育成するとともに、その過程を通して、第1款の(3)に示す資質・能力を育成する。</p> <p>※「第1款」の内容は後述の通り。</p> <p>1 話すこと[やり取り]</p> <p>(1) 日常的话题について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、複数の資料を活用しながら、課題を解決することができるよう、情報や考え、気持ちなどを整理して話して伝え合うことができるようにする。</p> <p>(2) 日常的话题や社会的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、ディベートやディスカッションなどの場面を通して、複数の資料を活用しながら、多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて、意見や主張、課題の解決策などを、聞き手を説得できるように、論理の構成や展開を工夫して詳しく話して伝え合うことができるようにする。</p> <p>2 話すこと[発表]</p> <p>(1) 日常的话题について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて、情報や考え、気持ちなどを、聞き手を説得できるように、論理の構成や展開を工夫して詳しく話して伝えることができるようにする。</p> <p>(2) 日常的话题や社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、スピーチやプレゼンテーションなどの活動を通して、複数の資料を活用しながら、多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて、意見や主張などを、聞き手を説得できるように、論理の構成や展開を工夫して詳しく話して伝えることができるようにする。</p> <p>3 書くこと</p> <p>(1) 日常的话题について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて、情報や考え、気持ちなどを、読み手を説得できるように、論理の構成や展開を工夫して複数の段階から成る文章で詳しく書いて伝えることができるようにする。</p> <p>(2) 日常的话题や社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、複数の資料を活用しながら、多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に書いて、意見や主張などを、</p>				

	<p>読み手を説得できるよう、論理の構成や展開を工夫して複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができるようにする。</p> <p>※第1款 目標</p> <p>1 外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動及びこれらを結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝えあったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次の通り育成することを目指す。</p> <p>(1) 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。</p> <p>(3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、聞き手に配慮しながら、主体的、自立的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。</p>
--	---

令和6年度 1学期 外国語科【論理・表現Ⅲ】 評価規準

単元	1 st Zone The World Around Us		
評価時期	4月～5月		
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> 言語材料（動詞や助動詞の適切な使い方）を理解する。 目的（私たちが暮らす社会について、その未来をどうしたらよりよいものにできるかささまざまな視点から考える）に応じて、聞き手や読み手を説得できるよう、内容（私たちが暮らす街）に関する複数の資料を活用しながら、多様な語句や文を適切に使い、論理の構成や展開を工夫して、情報や考え、意見や主張、課題の解決策などを話したり書いたりして伝えることができる。 		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	<ul style="list-style-type: none"> 言語材料を理解している。 内容に関する複数の資料を活用しながら、論理の構成や展開を工夫して、情報や考えなどを話したり書いたりして伝える技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 目的に応じて、聞き手や読み手を説得できるよう、内容に関する複数の資料を活用しながら、論理の構成や展開を工夫して、情報や考えなどを話したり書いたりして伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 目的に応じて、聞き手や読み手を説得できるよう、内容に関する複数の資料を活用しながら、論理の構成や展開を工夫して、情報や考えなどを話したり書いたりして伝えようとしている。

観 点	評 価 内 容
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 1 学期定期考査 語法テスト Check/Task の記述内容
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 1 学期定期考査 学習プリント Write の記述内容
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 教師による行動観察 学習プリント Share/Write の記述内容 課題の記述内容

単 元	2 nd Zone Arts and Entertainment	
評価時期	5 月～6 月	
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> 言語材料（形容詞や副詞の適切な使い方、分詞構文や比較表現の使い方）を理解する。 目的（時間の過ごし方、スポーツや音楽などの娯楽といったトピックを通して、これからの人生に必要なこと、大切なことを考える）に応じて、聞き手や読み手を説得できるよう、内容（時間の過ごし方、スポーツ、音楽）に関する複数の資料を活用しながら、多様な語句や文を適切に用い、論理の構成や展開を工夫して、情報や考え、意見や主張、課題の解決策などを話したり書いたりして伝えることができる。 	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 言語材料を理解している。 内容に関する複数の資料を活用しながら、論理の構成や展開を工夫して、情報や考えなどを話したり書いたりして伝える技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 目的に応じて、聞き手や読み手を説得できるよう、内容に関する複数の資料を活用しながら、論理の構成や展開を工夫して、情報や考えなどを話したり書いたりして伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 目的に応じて、聞き手や読み手を説得できるよう、内容に関する複数の資料を活用しながら、論理の構成や展開を工夫して、情報や考えなどを話したり書いたりして伝えようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 1 学期定期考査 語法テスト Check/Task の記述内容 	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 1 学期定期考査 学習プリント Write の記述内容 	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 教師による行動観察 学習プリント Share/Write の記述内容 課題の記述内容 	

単元	5 th Zone Language and Identity	
評価時期	6月～7月	
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> 言語材料（動詞や助動詞の適切な使い方）を理解する。 目的（現代社会における「ことば」の果たす役割について考える）に応じて、聞き手や読み手を説得できるよう、内容（外国語）に関する複数の資料を活用しながら、多様な語句や文を適切に使い、論理の構成や展開を工夫して、情報や考え、意見や主張、課題の解決策などを話したり書いたりして伝えることができる。 	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 言語材料を理解している。 内容に関する複数の資料を活用しながら、論理の構成や展開を工夫して、情報や考えなどを話したり書いたりして伝える技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 目的に応じて、聞き手や読み手を説得できるよう、内容に関する複数の資料を活用しながら、論理の構成や展開を工夫して、情報や考えなどを話したり書いたりして伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 目的に応じて、聞き手や読み手を説得できるよう、内容に関する複数の資料を活用しながら、論理の構成や展開を工夫して、情報や考えなどを話したり書いたりして伝えようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 1学期定期考査 語法テスト Check/Task の記述内容 	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 1学期定期考査 学習プリント Write の記述内容 	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 教師による行動観察 学習プリント Share/Write の記述内容 課題の記述内容 	

単元	パフォーマンステスト	
評価時期	4月～7月	
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> 内容（日常的・社会的な話題）について、聞き手や読み手を説得できるよう、複数の資料を活用しながら、論理の構成や展開を工夫して、意見や主張、課題の解決策などを話したり書いたりして伝えることができる。 	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 言語材料を理解している。 内容に関する複数の資料を活用しながら、論理の構成や展開を工夫して、情報や考えなどを話したり書いたりして伝える技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 目的に応じて、聞き手や読み手を説得できるよう、内容に関する複数の資料を活用しながら、論理の構成や展開を工夫して、情報や考えなどを話したり書いたりして伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 目的に応じて、聞き手や読み手を説得できるよう、内容に関する複数の資料を活用しながら、論理の構成や展開を工夫して、情報や考えなどを話したり書いたりして伝えようとしている。

観 点	評 価 内 容
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 1 学期定期考査 パフォーマンステストの課題
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 1 学期定期考査 パフォーマンステストの課題
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 教師による行動観察 Self-check の記述内容

令和6年度 2学期 外国語科【論理・表現Ⅲ】 評価規準

単 元	3 rd Zone Reflecting on the Natural World	
評価時期	8～10月	
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> 言語材料（名詞を説明する句や節の適切な使い方）を理解する。 目的（気候、環境、エネルギーなどといった人類共通の課題について、地球の未来のために今の私たちにできることを考える）に応じて、聞き手や読み手を説得できるよう、内容（気候、環境、エネルギー）に関する複数の資料を活用しながら、多様な語句や文を適切に使い、論理の構成や展開を工夫して、情報や考え、意見や主張、課題の解決策などを話したり書いたりして伝えることができる。 	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 言語材料を理解している。 内容に関する複数の資料を活用しながら、論理の構成や展開を工夫して、情報や考えなどを話したり書いたりして伝える技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 目的に応じて、聞き手や読み手を説得できるよう、内容に関する複数の資料を活用しながら、論理の構成や展開を工夫して、情報や考えなどを話したり書いたりして伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 目的に応じて、聞き手や読み手を説得できるよう、内容に関する複数の資料を活用しながら、論理の構成や展開を工夫して、情報や考えなどを話したり書いたりして伝えようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 2 学期定期考査 語法テスト Check/Task の記述内容 	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 2 学期定期考査 学習プリント Write の記述内容 	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 教師による行動観察 学習プリント Share/Write の記述内容 課題の記述内容 	

単元	4 th Zone Economies: Behind the Curtain	
評価時期	10月～11月	
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> 言語材料（動詞や助動詞の適切な使い方）を理解する。 内容と目的（人の流れも経済もボーダーレスになっている今、世界中の人たちとwin-winの関係を築くにはどうしたらいいか考える）に応じて、聞き手や読み手を説得できるよう、内容（労働力、フェアトレード、ボランティア活動）に関する複数の資料を活用しながら、多様な語句や文を適切に使い、論理の構成や展開を工夫して、情報や考え、意見や主張、課題の解決策などを話したり書いたりして伝えることにできる。 	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 言語材料を理解している。 内容に関する複数の資料を活用しながら、論理の構成や展開を工夫して、情報や考えなどを話したり書いたりして伝える技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 目的に応じて、聞き手や読み手を説得できるよう、内容に関する複数の資料を活用しながら、論理の構成や展開を工夫して、情報や考えなどを話したり書いたりして伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 目的に応じて、聞き手や読み手を説得できるよう、内容に関する複数の資料を活用しながら、論理の構成や展開を工夫して、情報や考えなどを話したり書いたりして伝えようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 2学期定期考査 語法テスト Check/Taskの記述内容 	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 2学期定期考査 学習プリント Writeの記述内容 	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 教師による行動観察 学習プリント Share/Writeの記述内容 課題の記述内容 	

単元	5 th Zone Language and Identity	
評価時期	11月～12月	
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> 言語材料（動詞や助動詞の適切な使い方）を理解する。 目的（現代社会における「ことば」の果たす役割について考える）に応じて、聞き手や読み手を説得できるよう、内容（言語や多様性）に関する複数の資料を活用しながら、多様な語句や文を適切に使い、論理の構成や展開を工夫して、情報や考え、意見や主張、課題の解決策などを話したり書いたりして伝えることができる。 	

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 言語材料を理解している。 内容に関する複数の資料を活用しながら、論理の構成や展開を工夫して、情報や考えなどを話したり書いたりして伝える技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 目的に応じて、聞き手や読み手を説得できるよう、内容に関する複数の資料を活用しながら、論理の構成や展開を工夫して、情報や考えなどを話したり書いたりして伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 目的に応じて、聞き手や読み手を説得できるよう、内容に関する複数の資料を活用しながら、論理の構成や展開を工夫して、情報や考えなどを話したり書いたりして伝えようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 2学期定期考査 語法テスト Check/Task の記述内容 	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 2学期定期考査 学習プリント Write の記述内容 	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 教師による行動観察 学習プリント Share/Write の記述内容 課題の記述内容 	

単 元	パフォーマンステスト	
評価時期	7月～12月	
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> 内容（日常的・社会的な話題）について、読み手を説得できるよう、複数の資料を活用しながら、論理の構成や展開を工夫して、意見や主張、課題の解決策などを書いて伝えることができる。 	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 言語材料を理解している。 内容に関する複数の資料を活用しながら、論理の構成や展開を工夫して、情報や考えなどを書いて伝える技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 目的に応じて、読み手を説得できるよう、内容に関する複数の資料を活用しながら、論理の構成や展開を工夫して、情報や考えなどを書いて伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 目的に応じて、読み手を説得できるよう、内容に関する複数の資料を活用しながら、論理の構成や展開を工夫して、情報や考えなどを書いて伝えようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 2学期定期考査 パフォーマンステストの課題 	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 2学期定期考査 パフォーマンステストの課題 	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 教師による行動観察 Self-check の記述内容 	

令和6年度 3学期 外国語科【論理・表現Ⅲ】 評価規準

単元	パフォーマンステスト	
評価時期	12月～1月	
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> 内容（日常的・社会的な話題）について、読み手を説得できるよう、複数の資料を活用しながら、論理の構成や展開を工夫して、意見や主張、課題の解決策などを書いて伝えることができる。 	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 言語材料を理解している。 内容に関する複数の資料を活用しながら、論理の構成や展開を工夫して、情報や考えなどを書いて伝える技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 目的に応じて、読み手を説得できるよう、内容に関する複数の資料を活用しながら、論理の構成や展開を工夫して、情報や考えなどを書いて伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 目的に応じて、読み手を説得できるよう、内容に関する複数の資料を活用しながら、論理の構成や展開を工夫して、情報や考えなどを書いて伝えようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> パフォーマンステストの課題 	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> パフォーマンステストの課題 	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 教師による行動観察 Self-check の記述内容 	

外国語科【英語探究】 評価規準

愛媛県立今治西高等学校 英語科

教 科	外国語	科 目	英語探究		
単 位 数	2	学 年	3	類 型	Ⅱ類型
教 科 書	自作教材及び英文読解問題集				
科目目標	<p>外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、英語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動及びこれらをつけた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成する。</p> <p>(1) 英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付ける。</p> <p>(2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、英語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や聞き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。</p> <p>(3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。</p>				

令和6年度 1学期 外国語科【英語探究】 評価規準

単 元	1 歴史・文化	
評価時期	4月～5月	
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> 言語材料（音声や語彙、表現、文法、言語の働き）を理解する。 内容（歴史・文化）について、話や文章の展開に注意しながら、聞き取ったり読み取ったりして、概要や要点、詳細を整理して捉えることができる。 内容について聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を目的に応じて適切に用い、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して、聞き手や読み手に話したり書いたりして伝えることができる。 	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 言語材料を理解している。 言語材料に留意して、内容を把握する技能を身に付けている。 内容について情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して伝える技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 内容について、概要や要点、詳細を整理して捉えている。 聞き手や読み手によく理解してもらえるように、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を適切に用いて、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して話したり書いたりして伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 内容について、概要や要点、詳細を整理して捉えようとしている。 聞き手や読み手によく理解してもらえるように、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を適切に用いて、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して話したり書いたりして伝えようとしている。

観 点	評 価 内 容
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 1 学期定期考査 単語テスト
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 1 学期定期考査 学習プリントの記述内容
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 教師による行動観察 課題の記述内容 Self-check の記述内容

単 元	2 教育	
評価時期	6 月～7 月	
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> 言語材料（音声や語彙、表現、文法、言語の働き）を理解する。 内容（教育）について、話や文章の展開に注意しながら、聞き取ったり読み取ったりして、概要や要点、詳細を整理して捉えることができる。 内容について聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を目的に応じて適切に用い、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して、聞き手や読み手に話したり書いたりして伝えることができる。 	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 言語材料を理解している。 言語材料に留意して、内容を把握する技能を身に付けている。 内容について情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して伝える技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 内容について、概要や要点、詳細を整理して捉えている。 聞き手や読み手によく理解してもらえるように、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を適切に用いて、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して話したり書いたりして伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 内容について、概要や要点、詳細を整理して捉えようとしている。 聞き手や読み手によく理解してもらえるように、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を適切に用いて、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して話したり書いたりして伝えようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 1 学期定期考査 単語テスト パフォーマンステストの課題 	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 1 学期定期考査 学習プリントの記述内容 パフォーマンステストの課題 	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 教師による行動観察 課題の記述内容 Self-check の記述内容 	

令和6年度 2学期 外国語科【英語探究】 評価規準

単元	3 社会問題	
評価時期	7月～10月	
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> 言語材料（音声や語彙、表現、文法、言語の働き）を理解する。 内容（社会問題）について、話や文章の展開に注意しながら、聞き取ったり読み取ったりして、概要や要点、詳細を整理して捉えることができる。 内容について聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を目的に応じて適切に用い、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して、聞き手や読み手に話したり書いたりして伝えることができる。 	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 言語材料を理解している。 言語材料に留意して、内容を把握する技能を身に付けている。 内容について情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して伝える技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 内容について、概要や要点、詳細を整理して捉えている。 聞き手や読み手によく理解してもらえるように、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を適切に用いて、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して話したり書いたりして伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 内容について、概要や要点、詳細を整理して捉えようとしている。 聞き手や読み手によく理解してもらえるように、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を適切に用いて、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して話したり書いたりして伝えようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 2学期定期考査 単語テスト 	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 2学期定期考査 学習プリントの記述内容 	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 教師による行動観察 課題の記述内容 Self-check の記述内容 	

単元	4 環境・医療	
評価時期	11月～12月	
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> 言語材料（音声や語彙、表現、文法、言語の働き）を理解する。 内容（環境・医療）について、話や文章の展開に注意しながら、聞き取ったり読み取ったりして、概要や要点、詳細を整理して捉えることができる。 内容について聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を目的に応じて適切に用い、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して、聞き手や読み手に話したり書いたりして伝えることができる。 	

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・ 言語材料を理解している。 ・ 言語材料に留意して、内容を把握する技能を身に付けている。 ・ 内容について情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して伝える技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 内容について、概要や要点、詳細を整理して捉えている。 ・ 聞き手や読み手によく理解してもらえるように、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を適切に用いて、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して話したり書いたりして伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 内容について、概要や要点、詳細を整理して捉えようとしている。 ・ 聞き手や読み手によく理解してもらえるように、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を適切に用いて、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して話したり書いたりして伝えようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2学期定期考査 ・ 単語テスト ・ パフォーマンステストの課題 	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2学期定期考査 ・ 学習プリントの記述内容 ・ パフォーマンステストの課題 	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教師による行動観察 ・ 課題の記述内容 ・ Self-check の記述内容 	

令和6年度 3学期 外国語科【英語探究】 評価規準

単元	パフォーマンステスト	
評価時期	12月～1月	
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> 内容（日常的・社会的な話題）について、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を目的に応じて適切に用い、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して、読み手や書き手に伝えることができる。 	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 情報や考え、気持ちを論理性に注意して伝えるために必要な言語材料を理解している。 言語材料に留意しながら、内容について話や文章の展開に注意しながら概要や要点、詳細を目的に応じて捉えたり、情報や考え、気持ちを論理性に注意して話したり書いたりして伝える技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 話や文章の展開に注意しながら、概要や要点、詳細を整理して捉えている。 話し手や聞き手によく理解してもらえるように、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちを論理性に注意して話したり書いたりして伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 話や文章の展開に注意しながら、概要や要点、詳細を整理して捉えようとしている。 話し手や聞き手によく理解してもらえるように、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちを論理性に注意して話したり書いたりして伝えようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> パフォーマンステストの課題 	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> パフォーマンステストの課題 	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 教師による行動観察 Self-check の記述内容 	